オンライン請求システム
操作手順書

【レセプト等配信ツール】

＜保険者用＞

令和５年３月版

社 会 保 険 診 療 報 酬 支 払 基 金

本文中の記号の意味

本文中で使用している記号の意味について以下に示します。

	システムの操作上または処理の手続き上において、特に注意していただきたい事項を記載しています。記載内容を必ずお読みください。
	システムの操作上または処理の手続き上において、参考にしていただきたい事項を記載しています。必要に応じてお読みください。
	関連情報が記載されている参照先を示します。

目次

はじめに 1

1　初期設定編 2

1.1 レセプト等配信ツールをセットアップする 2

1.1.1 Microsoft Edge（HTML）の場合 2

1.1.2 Microsoft Edge（Chromium）の場合 7

2　運用編 12

2.1 ネットワークに接続する 12

2.2 レセプト等配信ツールを起動する 12

2.3 ログインする 14

2.4 メニュー画面構成 16

2.5 レセプトデータを配信する 18

2.5.1 レセプトデータを配信する 18

2.5.2 レセプトデータを再配信する 22

2.5.3 レセプトデータの配信予測時間を計測する 25

2.6 請求関係帳票データを配信する 27

2.7 再審査等返付レセプトデータを配信する 31

2.7.1 再審査等返付レセプトデータを配信する 31

2.7.2 再審査等返付レセプトデータを再配信する 34

2.8 一括提供先保険者の場合 37

2.8.1 レセプトデータを配信する 37

2.8.2 請求関係帳票データを配信する 44

2.8.3 再審査等返付レセプトデータを配信する 50

2.9 レセプト等配信ツールを終了する 55

はじめに

本システムは、以下のパソコン環境で動作します。

Windows

	OS	ブラウザ
1	Windows 11*1	Microsoft Edge(Chromium)
2	Windows 10*2	Microsoft Edge(Chromium)
3	Windows 10 LTSC 2021*3	Microsoft Edge(Chromium)
3	Windows 10 LTSC 2019*4	Microsoft Edge(Chromium)
4	Windows Server 2022	Microsoft Edge(Chromium)
5	Windows 10*5	Microsoft Edge (HTML)

*1 ビルド番号 22000 が動作環境となります。

*2 ビルド番号 19044、19045 が動作環境となります。

*3 ビルド番号 19044 が動作環境となります。

*4 ビルド番号 17763 が動作環境となります。

*5 ビルド番号 17134、17763、18362、18363 が動作環境となります。

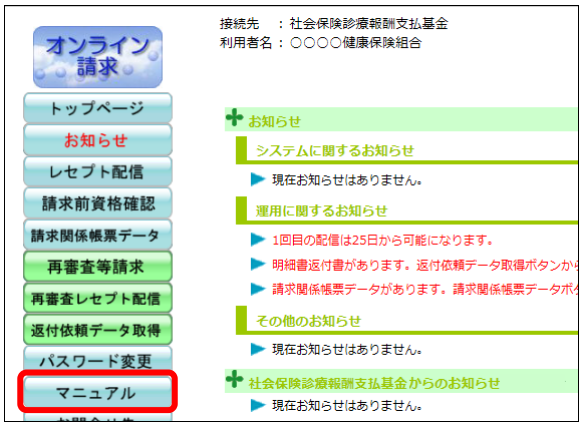
1 初期設定編

1.1 レセプト等配信ツールをセットアップする

オンライン請求システムから、レセプト等配信ツールをダウンロードして、パソコンにセットアップします。
ご使用のブラウザを Internet Explorer11.0 から Microsoft Edge（HTML）もしくは Microsoft Edge（Chromium）に変更した場合は必ずレセプト等配信ツールのセットアップを行ってください。それ以外の場合は必要に応じて、レセプト等配信ツールのセットアップを行ってください。レセプト等配信ツールは保険者のみ使用できるツールとなります。

参照 ご使用のパソコン環境に合わせて、以下の項目を参照してください。
・「1.1.1 Microsoft Edge（HTML）の場合」（以下の手順）
・「1.1.2 Microsoft Edge（Chromium）の場合」（P.7）

1.1.1 Microsoft Edge（HTML）の場合



1. オンライン請求システムのトップメニューで、画面左の【マニュアル】ボタンをクリックします。

「マニュアル選択」画面が表示されます。

2. 「レセプト等配信ツール」のリンク文字列をクリックします。

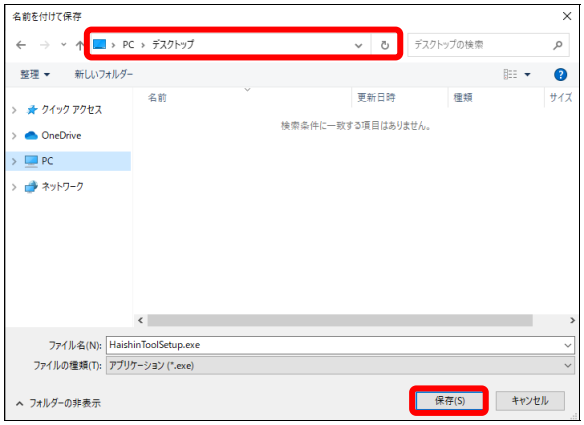
画面下部に、ダウンロード確認メッセージが表示されます。

3. 【保存】ボタン右の【∧】ボタンをクリックし、「名前を付けて保存」を選択します。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

補足

処理を中止する場合は、【キャンセル】ボタンをクリックしてください。

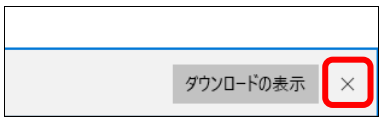


4. 保存先を指定して、【保存】ボタンをクリックします。

補足

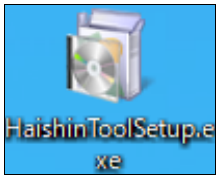
・本書ではデスクトップ上に保存しています。

・処理を中止する場合は、【キャンセル】ボタンをクリックしてください。



5.　【×】ボタンをクリックします。

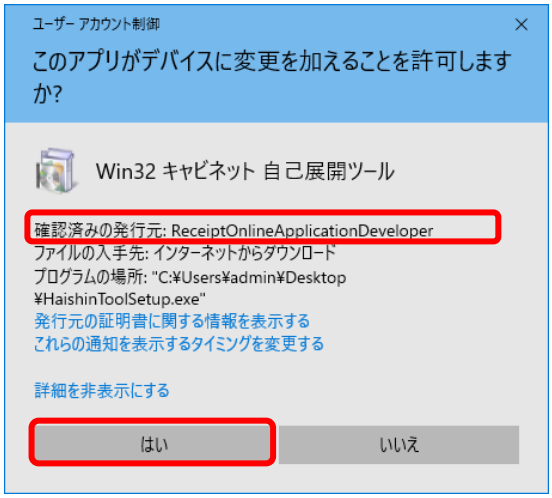
「HaishinToolSetup.exe」ファイル（自己解凍形式の圧縮ファイル）が保存先のフォルダにダウンロードされます。



6.　デスクトップ上の「HaishinToolSetup.exe」ファイルをダブルクリックします。

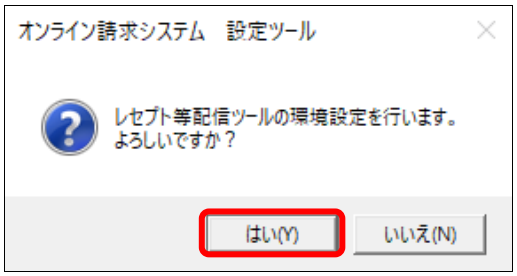
「オンライン請求システム　設定ツール」が起動します。

■「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合



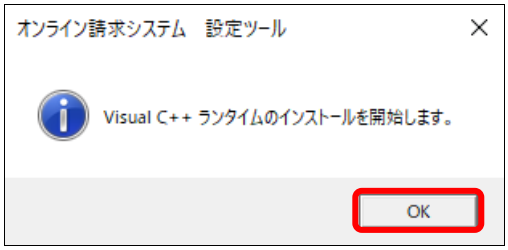
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」に以下の文字が表示されていることを確認し、【はい】ボタンをクリックしてください。

ReceiptOnlineApplicationDeveloper



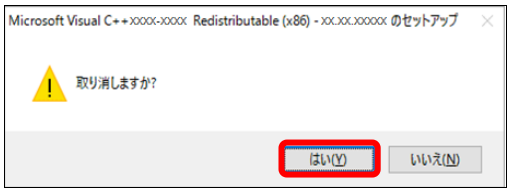
7.　【はい】ボタンをクリックします。

Visual C++ランタイムインストール開始メッセージが表示されます。



8.　【OK】ボタンをクリックします。

Visual C++ランタイムインストール確認メッセージが表示されます。

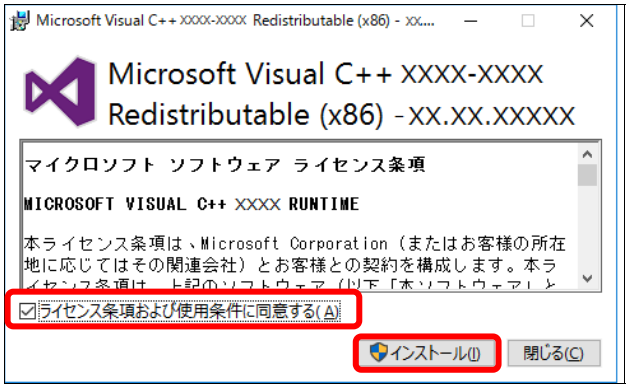


補足

・左のメッセージが表示された場合は【閉じる】ボタンをクリックし、その後取り消し確認メッセージで【はい】ボタンをクリックしてください。

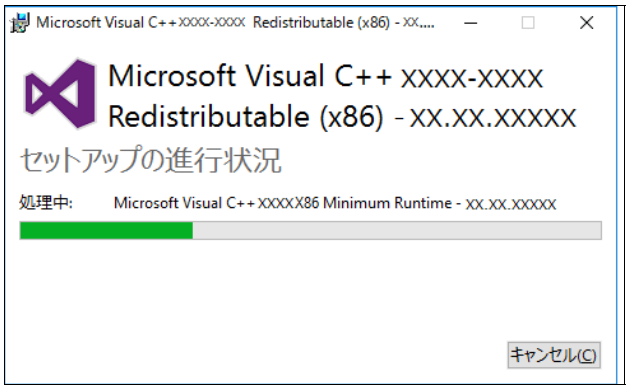
・Visual C++ランタイムが既にインストール済みの場合に表示されるメッセージです。

・手順11（P.6）に進みます。



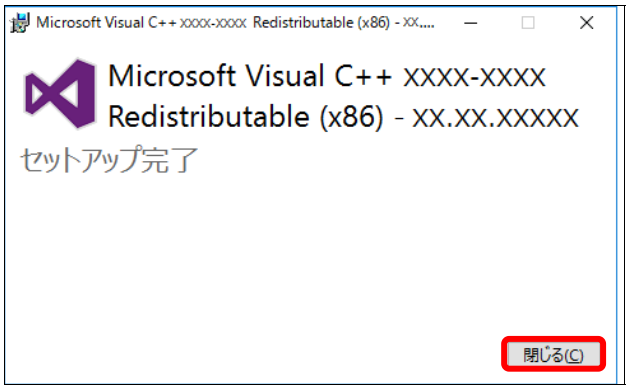
9. 「ライセンス条項および使用条件に同意する」にチェックし、【インストール】ボタンをクリックします。

インストールの進捗が表示されます。
インストールが完了すると、セットアップ完了のメッセージが表示されます。



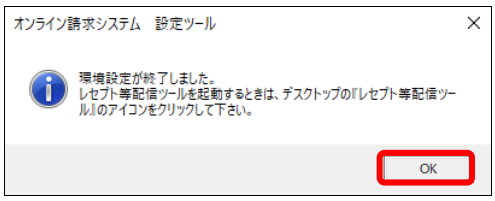
補足

インストールには、多少の時間がかかります。
しばらくお待ちください。



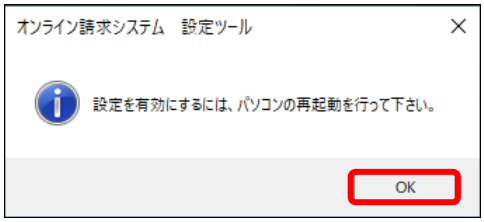
10. 【閉じる】ボタンをクリックします。

環境設定終了メッセージが表示されます。



11. 【OK】ボタンをクリックします。

セットアップが完了します。
デスクトップ上に、「レセプト等配信ツール」アイコンが作成されます。



12. 【OK】ボタンをクリックします。

「オンライン請求システム　設定ツール」を終了します。

13. パソコンを再起動します。

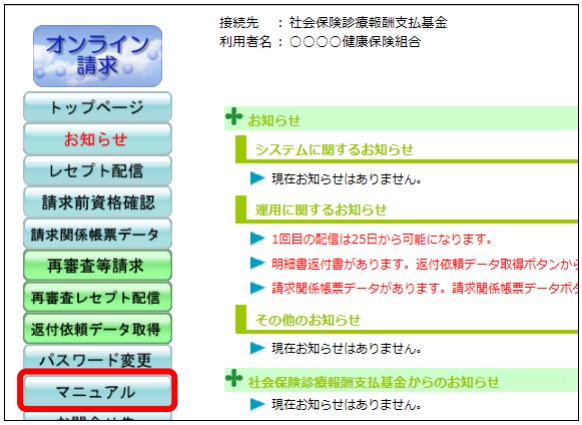
補足

設定を有効にするために、オンライン請求システム設定ツールを終了したのち、パソコンの再起動を行ってください。

補足

デスクトップ上の「レセプト等配信ツール」アイコンをダブルクリックすると、レセプト等配信ツールが起動します。

1.1.2 Microsoft Edge（Chromium）の場合



1. オンライン請求システムのトップメニューで、画面左の【マニュアル】ボタンをクリックします。

「マニュアル選択」画面が表示されます。

2. 「レセプト等配信ツール」のリンク文字列をクリックします。

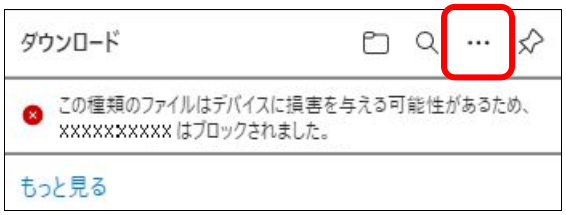
画面右上に【↓】ボタンが表示されます。

補足

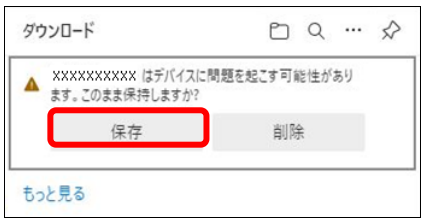
【↓】ボタンの表示には 10～20 秒かかることがあります。

3. 【↓】ボタンをクリックします。

「ダウンロード履歴」画面が表示されます。



4.　【…】ボタンをクリックします。



補足

環境によっては左のような画面が表示されることがあります。その場合は、【保存】ボタンをクリックします。

5.　【[ダウンロード] ページを開く】ボタンをクリックします。

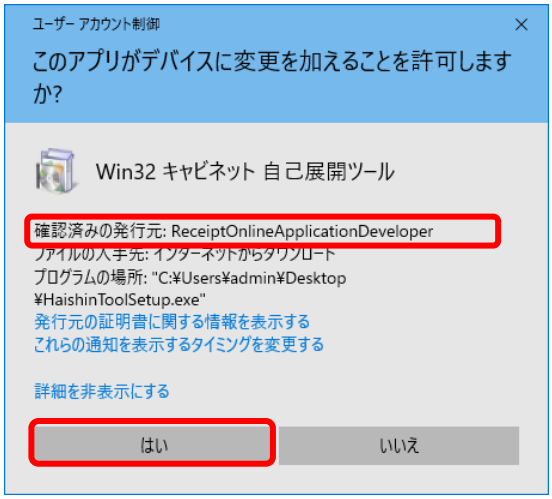
6.　【保存】ボタンをクリックします。

「HaishinToolSetup.exe」ファイルがダウンロードフォルダに保存されます。

7. ダウンロードフォルダにある「HaishinToolSetup.exe」ファイルをダブルクリックします。

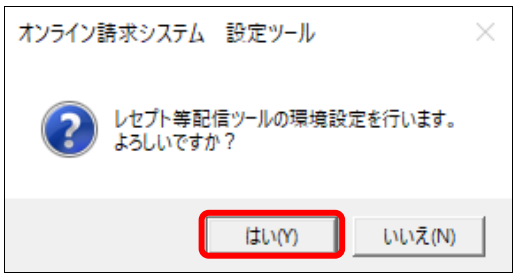
「オンライン請求システム　設定ツール」が起動します。

■「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合



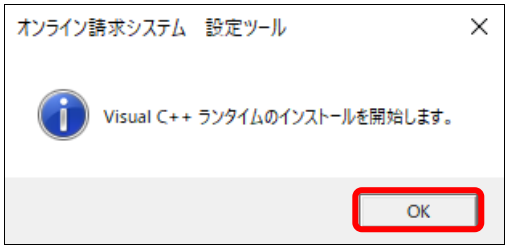
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」に以下の文字が表示されていることを確認し、【はい】ボタンをクリックしてください。

ReceiptOnlineApplicationDeveloper



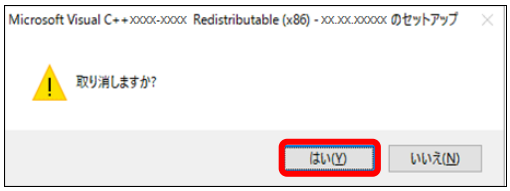
8. 【はい】ボタンをクリックします。

Visual C++ランタイムインストール開始メッセージが表示されます。



9.　【OK】ボタンをクリックします。

Visual C++ランタイムインストール確認メッセージが表示されます。



補足

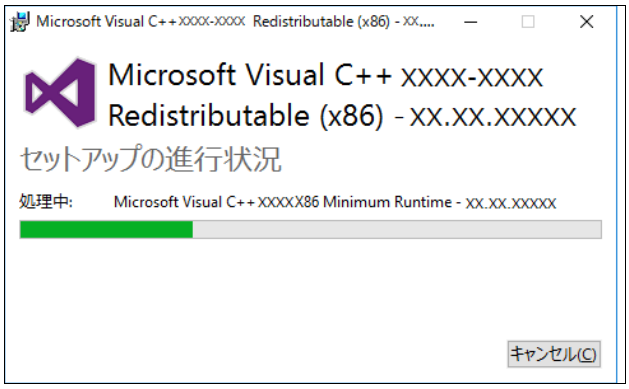
・左のメッセージが表示された場合は【閉じる】ボタンをクリックし、その後取り消し確認メッセージで【はい】ボタンをクリックしてください。

・Visual C++ランタイムが既にインストール済みの場合に表示されるメッセージです。

・手順12（P.11）に進みます。

10.　「ライセンス条項および使用条件に同意する」にチェックし、【インストール】ボタンをクリックします。

インストールの進捗が表示されます。
インストールが完了すると、セットアップ完了のメッセージが表示されます。

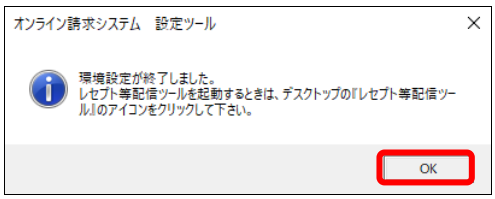


補足

インストールには、多少の時間がかかります。
しばらくお待ちください。

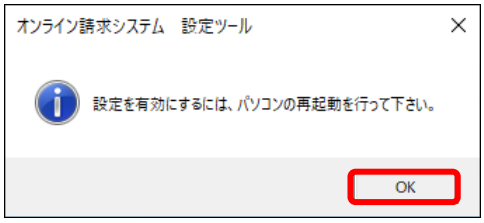
11. 【閉じる】ボタンをクリックします。

環境設定終了メッセージが表示されます。



12. 【OK】ボタンをクリックします。

セットアップが完了します。
デスクトップ上に、「レセプト等配信ツール」アイコンが作成されます。



13. 【OK】ボタンをクリックします。

「オンライン請求システム　設定ツール」を終了します。

14. パソコンを再起動します。

補足

設定を有効にするために、オンライン請求システム設定ツールを終了したのち、パソコンの再起動を行ってください。

補足

デスクトップ上の「レセプト等配信ツール」アイコンをダブルクリックすると、レセプト等配信ツールが起動します。

2 運用編

2.1 ネットワークに接続する

レセプト等配信ツールを使用するためには、オンライン請求ネットワークに接続する必要があります。
ネットワークへの接続方法は、『オンライン請求システム操作手順書　【初期設定②～ネットワーク設定～】編』の「3.1 ネットワークに接続する」を参照してください。

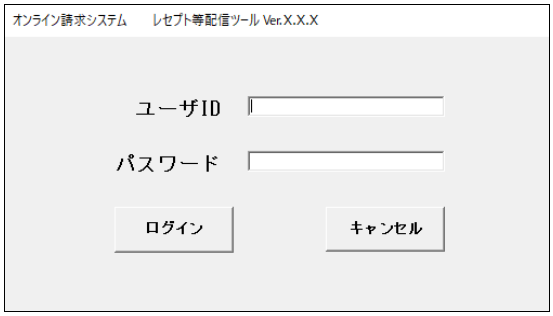
2.2 レセプト等配信ツールを起動する

パソコンで、レセプト等配信ツールを起動します。

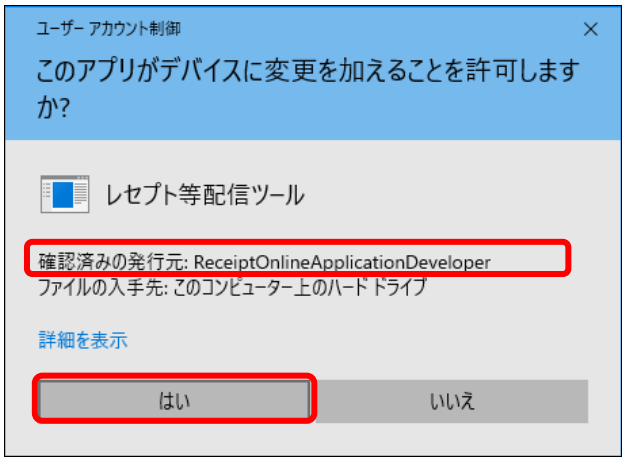
1. デスクトップ上の「レセプト等配信ツール」アイコンをダブルクリックします。

レセプト等配信ツールが起動します。

補足
パソコン環境によっては、アイコンが異なる場合があります。



■「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合

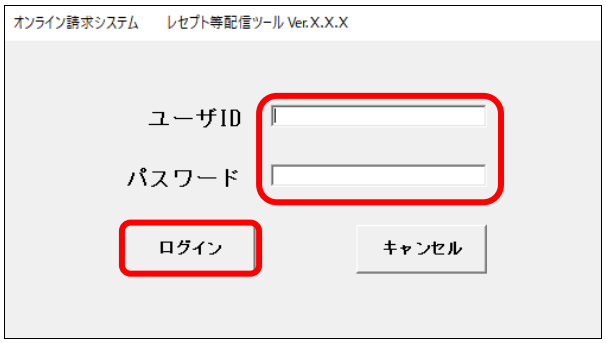


「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「確認済みの発行元」に以下の文字が表示されていることを確認し、【はい】ボタンをクリックしてください。

ReceiptOnlineApplicationDeveloper

2.3 ログインする

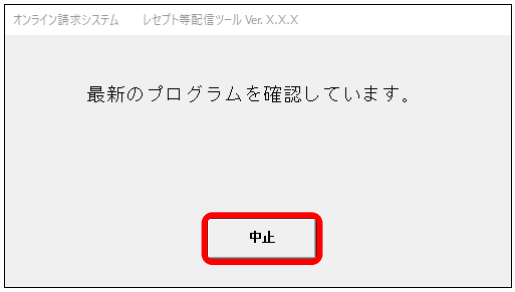
レセプト等配信ツールにログインし、「メニュー画面」を表示します。



1. レセプト等配信ツールの「ユーザ ID」と「パスワード」を入力し、【ログイン】ボタンをクリックします。

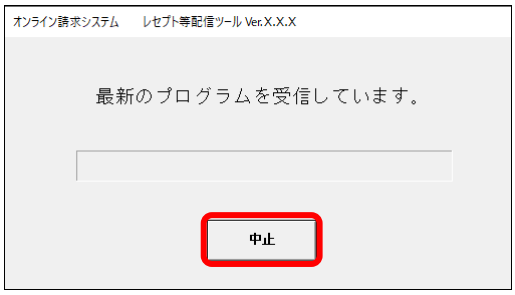
補足

処理を中止するには、【キャンセル】ボタンをクリックしてください。



補足

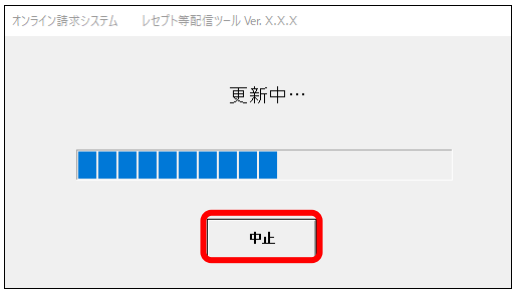
処理を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。

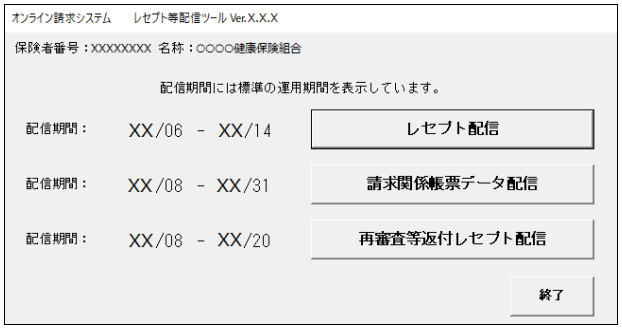


補足

・処理を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。

・この画面は、パソコンの環境によって表示されない場合もあります。

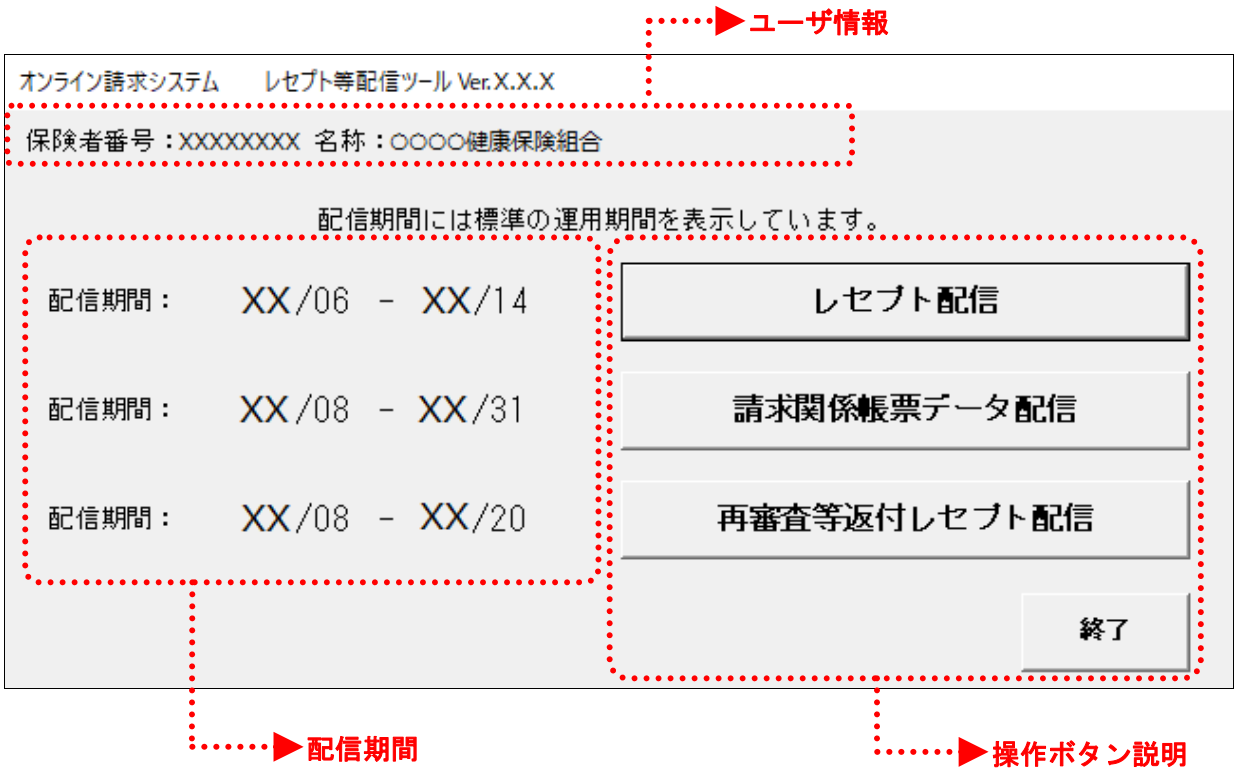




2.　レセプト等配信ツールのメニュー画面が表示されます。

2.4 メニュー画面構成

「メニュー画面」の概要について説明します。



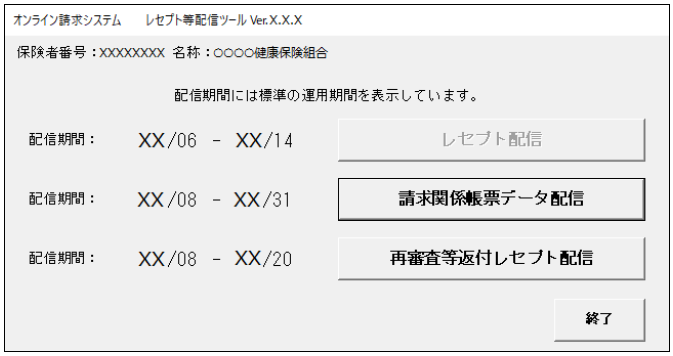
画面の項目説明

●ユーザ情報	
保険者番号	接続している保険者番号を表示します。
保険者名	保険者名を表示します。
●配信期間	
配信期間	レセプト配信、請求関係帳票データ配信、再審査等返付レセプト配信それぞれの配信期間を表示します。
●操作ボタン説明	
操作ボタン	説明
レセプト配信	レセプトデータの配信を行います。また、配信状況を表示します。
請求関係帳票データ配信	請求関係帳票データの配信状況を表示します。
再審査等返付レセプト配信	再審査等返付レセプトデータの配信状況を表示します。
終了	レセプト等配信ツールを終了します。

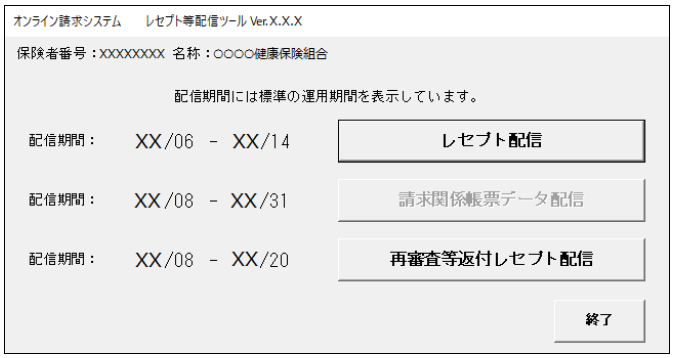
補足

・ログイン日時の日付が配信期間外の場合、レセプト配信ボタン、請求関係帳票データ配信ボタン、再審査等返付レセプト配信ボタンはクリックできません。

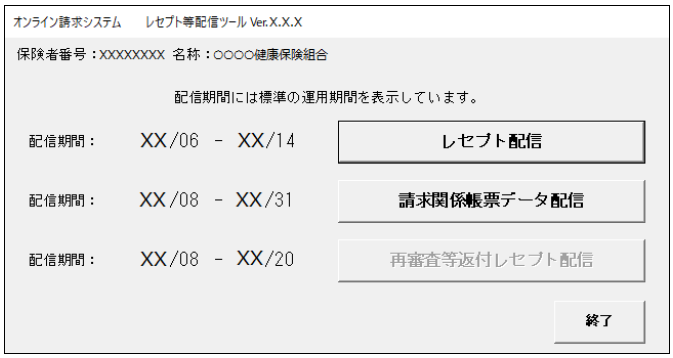
■レセプト配信が配信期間外の場合



■請求関係帳票データ配信が配信期間外の場合



■再審査等返付レセプト配信が配信期間外の場合



補足

ログイン日時の日付がレセプト配信、請求関係帳票データ配信、再審査等返付レセプト配信の配信期間外の場合は、ログインすることが出来ません。

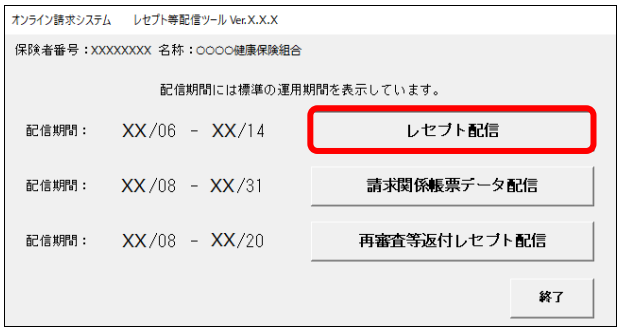
運用期間については、『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「1 運用期間」を参照してください。

2.5 レセプトデータを配信する

レセプト等配信ツールを使用してレセプトデータを配信します。

参照 一括提供先保険者の場合は、「2.8 一括提供先保険者の場合」（P.37）を参照してください。

2.5.1 レセプトデータを配信する



1. メニュー画面の【レセプト配信】ボタンをクリックします。

「レセプト配信状況」画面が表示されます。

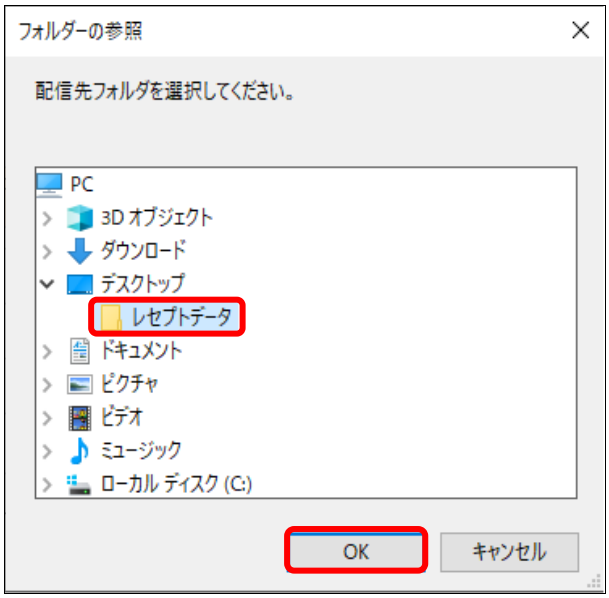
2. 配信する項目の「選択」欄にチェックを入れ、【配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

補足

- 現在配信中の保険者数／配信対象保険者数が表示されます。また（　）内には、未配信の保険者数（配信中の保険者も含む）が表示されます。
- 「選択」欄には、あらかじめ全項目にチェックが入っています。
- 「配信完了時に解凍する」には、あらかじめチェックが入っていません。
- レセプトデータは圧縮されて配信されます。「配信完了時に解凍する」をチェックしている場合のみ、配信後にレセプトデータを解凍します。
- 「選択」「レセプト件数」「ファイルサイズ」「配信状況」および「配信回数」は、CSV ファイルと画像ファイルに分けて表示されます。
- ファイルサイズは、各項目単位に端数整理をしているので、合計が不一致になる場合があります。
- 処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。

参照 【配信予測時間計測】ボタンをクリックすると、レセプトデータを配信する際の予測時間を測定できます。配信予測時間を測定する場合は、「2.5.3 レセプトデータの配信予測時間を計測する」（P.25）を参照してください。

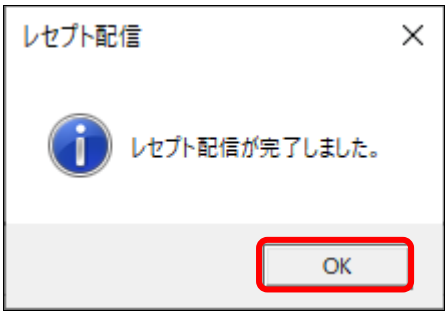


3. レセプトデータを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

概ねの配信時間（残り時間）が表示されます。レセプト配信が完了すると、完了メッセージが表示されます。

補足
- レセプトデータを保存するフォルダには、自動的に「診療年月」名のフォルダが作成されます。
  「診療年月」のフォルダ名の例
  「50204」：令和 2 年 4 月診療分
- フォルダ名の先頭の数字は、年号を意味します。
- 「診療年月」名のフォルダ内に、自動的にレセプトデータを保存する「1」フォルダが作成されます。
- 本書では、「レセプトデータ」フォルダを事前にデスクトップ上に作成しています。

補足
- 現在配信中の保険者数／配信対象保険者数が表示されます。また（ ）内には、未配信の保険者数（配信中の保険者も含む）が表示されます。
- 配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。この場合、ファイル単位に配信が終了するので、次に配信を行うときは、未配信ファイルのレセプトデータが配信されます。



4.　【OK】ボタンをクリックします。

「レセプト配信状況」画面に戻ります。

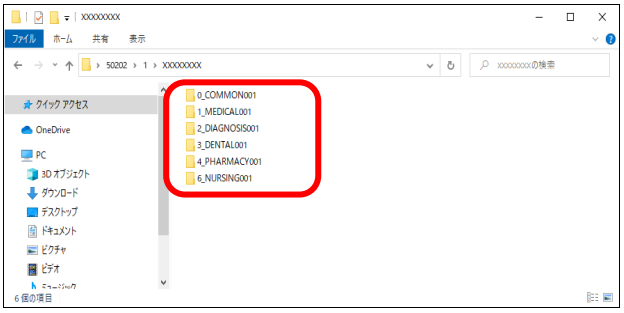
5.　レセプト配信状況を確認します。

配信先に指定したフォルダに、レセプトデータが保存されます。

補足

- CSV ファイルおよび画像ファイルの各「配信状況」欄には、それぞれの初回配信の終了日時が表示されます。
- CSV ファイルおよび画像ファイルの各「配信回数」欄には、それぞれの配信回数が表示されます。
- CSV ファイルおよび画像ファイルをすべて配信した場合に、【配信】ボタンが【再配信】ボタンに変わります。
- レセプト配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「5.1 レセプトデータを配信する」を参照してください。



補足

- 1 フォルダ内には最大 10 ファイルまで格納されます。画像レセプトの場合は、1 ファイルあたり 1,000 件まで格納されます。
- レセプトデータは圧縮して配信されるため、「レセプト配信状況」画面で「配信完了時に解凍する」にチェックをしていない場合は、配信終了後に解凍する必要があります。

参照 レセプトデータの解凍方法は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「5.3 レセプトデータを解凍する」を参照してください。

補足

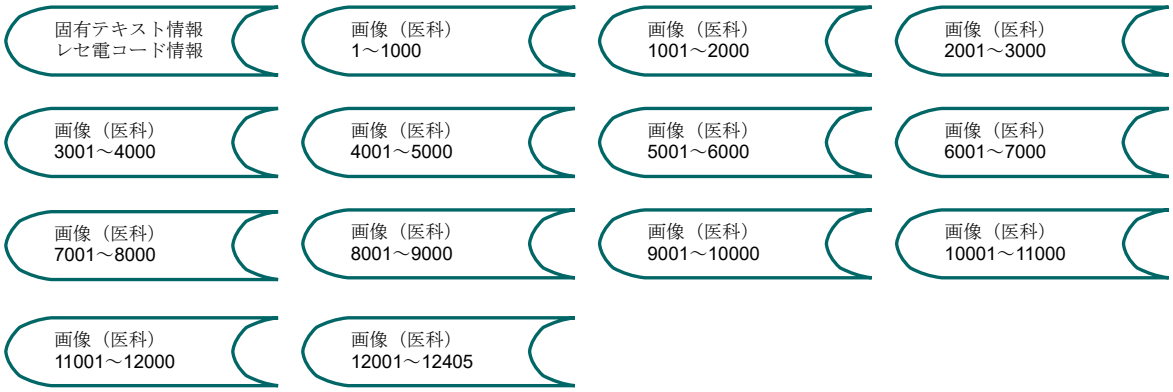
配信ファイルの内容は以下のとおりです。

「共通」：レセプト電子データ提供要領の別添 6「1 保険者提供用レセプト電子情報記録条件仕様」に記載の「00_INFORMATION.CSV」を指します。

「医科」：レセプト電子データ提供要領の別添 6「1 保険者提供用レセプト電子情報記録条件仕様」に記載の「固有テキスト情報ファイル」および「レセ電コード情報ファイル」を 1 つのファイルに格納します。また、医科レセプトの画像を 1,000 件単位で 1 つのファイルに格納します。
例）医科レセプト件数：12,405 件の場合、配信ファイル（14 ファイル）は次のようになります。
・固有テキスト情報とレセ電コード情報の格納ファイル
・医科レセプトの画像（1,000 件分）×12 ファイル
・医科レセプトの画像（405 件分）

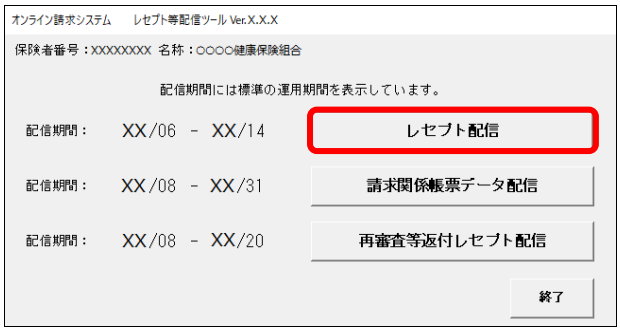
「DPC」、「歯科」、「調剤」および「訪問看護」（レセ電コード情報ファイルを除く）についても「医科」と同様です。

医科レセプトが 12,405 件ある場合、配信ファイル（14 ファイル）のイメージは次のようになります。



2.5.2 レセプトデータを再配信する

配信済のレセプトデータを誤って消去した場合など、配信期間中に限り、レセプト等配信ツールを使用してレセプトデータを再配信できます。



1. メニュー画面の【レセプト配信】ボタンをクリックします。

「レセプト配信状況」画面が表示されます。

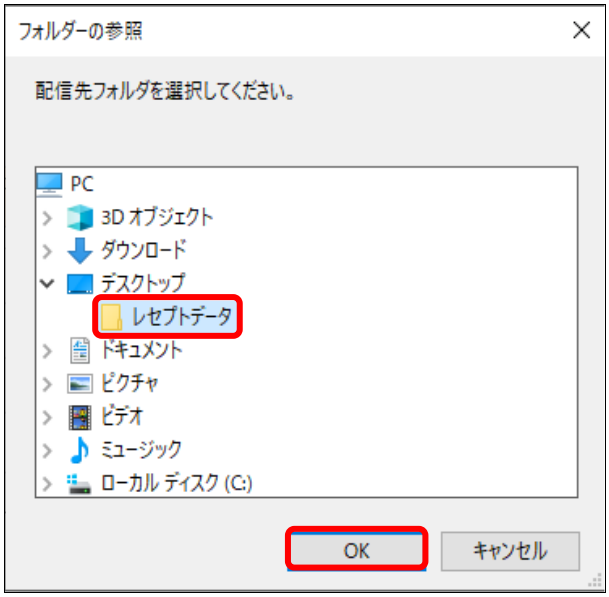
2. 再配信する項目の「選択」欄にチェックを入れ、【再配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

補足

・レセプトデータは圧縮されて配信されます。「配信完了時に解凍する」をチェックしている場合のみ、配信後にレセプトデータを解凍します。

・処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。



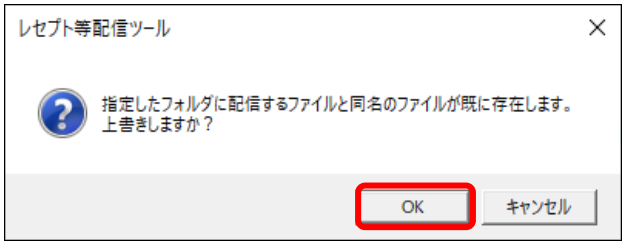
3. レセプトデータを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

上書き確認メッセージが表示されます。

補足

・初回配信時に作成された「診療年月」名のフォルダを削除した場合には、再度、自動的に「診療年月」名のフォルダが作成されます。
「診療年月」のフォルダ名の例
「50204」：令和 2 年 4 月診療分

・フォルダ名の先頭の数字は、年号を意味します。



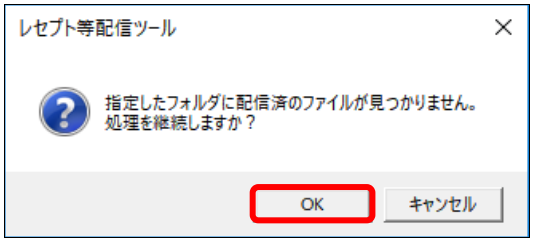
4. 【OK】ボタンをクリックします。

概ねの配信時間（残り時間）が表示されます。
レセプト配信が完了すると、完了メッセージが表示されます。

補足

・レセプトデータを上書きしない場合は、【キャンセル】ボタンをクリックし、手順3の「フォルダ選択」画面で別の配信先フォルダを選択してください。

・初回配信時のフォルダが存在しない場合、本メッセージは表示されません。



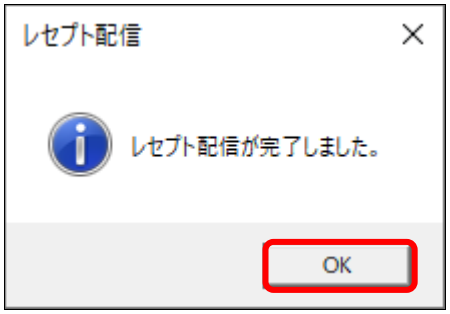
補足

レセプト配信で指定したフォルダと異なるフォルダを指定した場合は、左のような画面が表示されます。レセプト配信で指定したフォルダと異なるフォルダに再配信する場合は、【OK】ボタンをクリックしてください。

補足

・現在配信中の保険者数／配信対象保険者数が表示されます。また（ ）内には、未配信の保険者数（配信中の保険者も含む）が表示されます。

・配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。



5. 【OK】ボタンをクリックします。

「レセプト配信状況」画面に戻ります。

6.　レセプトデータの再配信状況を確認します。

補足

・再配信を行った項目の配信回数が変更されます。

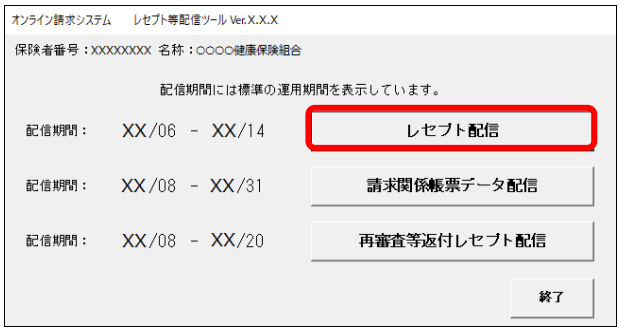
・再配信を行っても、「配信状況」欄の表示は変更されません。

・レセプト再配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「5.2 レセプトデータを再配信する」を参照してください。

2.5.3 レセプトデータの配信予測時間を計測する

レセプト等配信ツールを使用してレセプトデータを配信する際の予測時間を計測します。

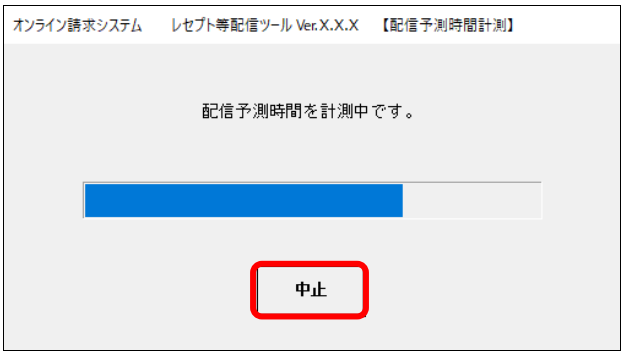


1. メニュー画面の【レセプト配信】ボタンをクリックします。

「レセプト配信状況」画面が表示されます。

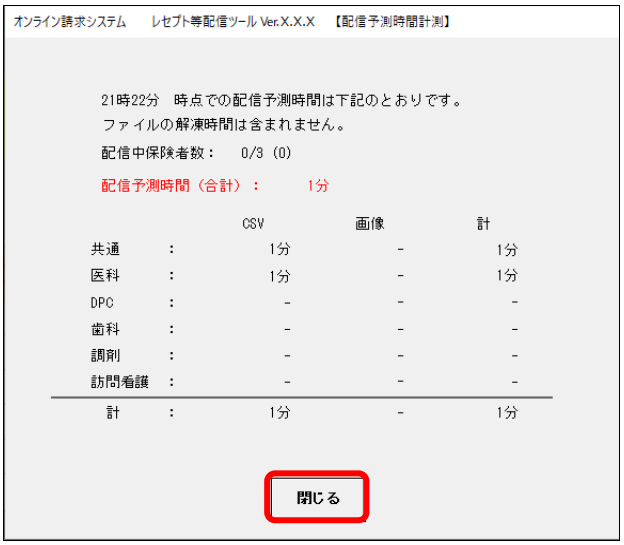
2. 配信する項目の「選択」欄にチェックを入れ、【配信予測時間計測】ボタンをクリックします。

配信予測時間計測画面が表示されます。
「配信予測時間を計測中です。」と表示されます。
配信予測時間の計測が完了すると、計測結果が表示されます。



補足

計測を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。



3.　配信予測時間を確認し、【閉じる】ボタンをクリックします。

「レセプト配信状況」画面に戻ります。

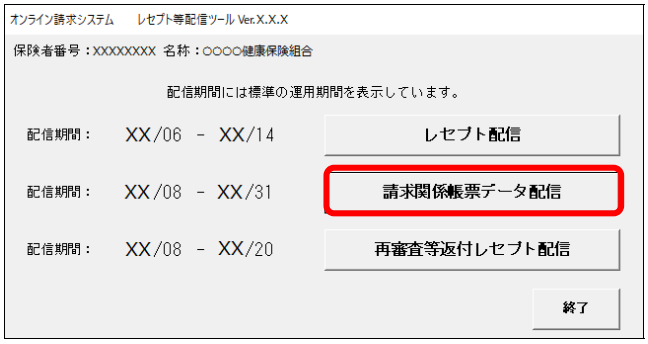
補足

- 配信予測時間は、計測時点での予測時間となるため、実際の配信時間とは異なる可能性があります。
- 配信予測時間は、レセプトデータの解凍時間は含まれません。
- 配信予測時間の表示は、秒単位を切り上げ、分単位から表示します。
- 配信予測時間の合計値は、秒単位を切り上げる前に数値を合計し、その合計した値の秒単位を切り上げて表示します。そのため、各点数表区分の値を合計した数値と、配信予測時間の合計として表示される値が異なる場合があります。

2.6 請求関係帳票データを配信する

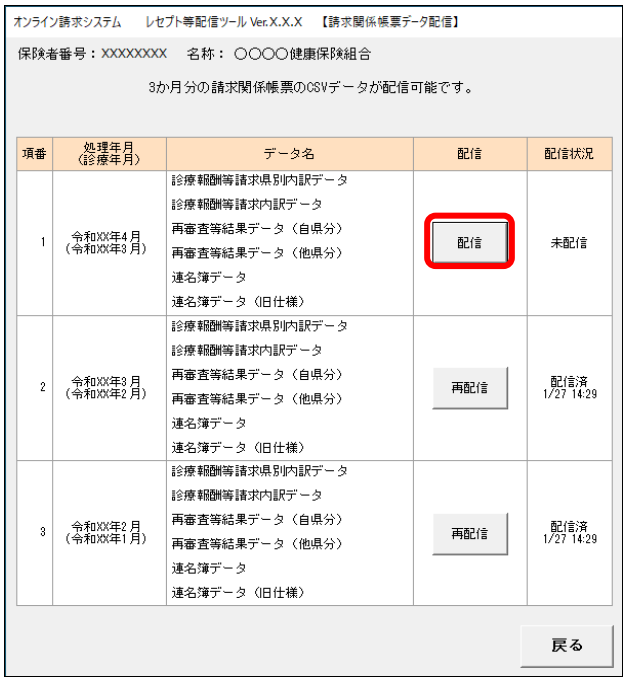
レセプト等配信ツールを使用して請求関係帳票の CSV データを配信します。
なお、過去 3 か月分の請求関係帳票データが配信可能です。

参照 一括提供先保険者の場合は、「2.8 一括提供先保険者の場合」（P.37）を参照してください。



1. メニュー画面の【請求関係帳票データ配信】ボタンをクリックします。

「請求関係帳票データ配信状況」画面が表示されます。

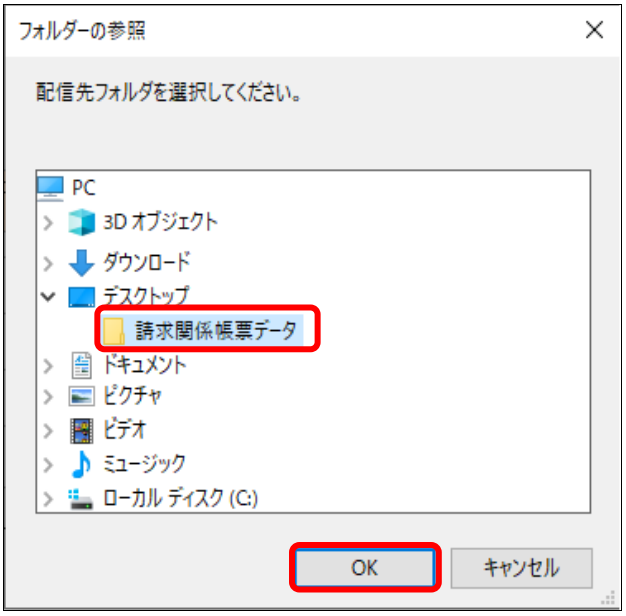


2. 配信するデータの【配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

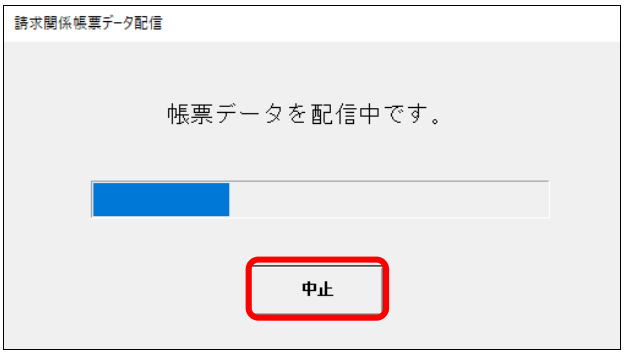
補足

処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。



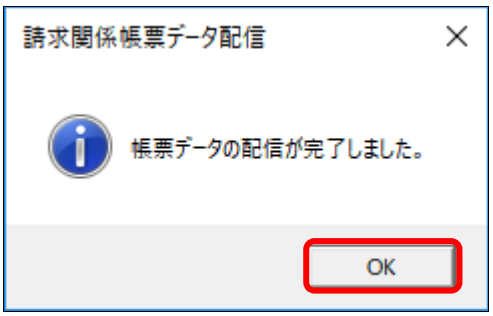
3.　請求関係帳票データを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

「帳票データを配信中です。」と表示され、その後、完了メッセージが表示されます。



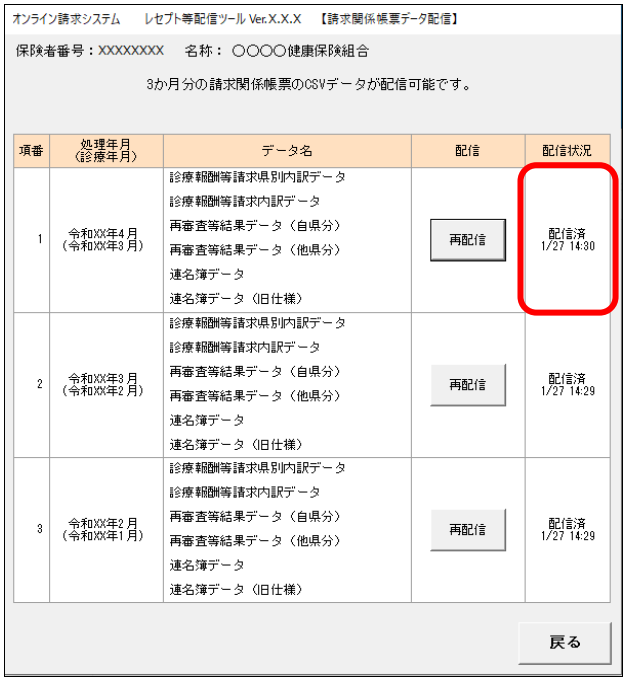
補足

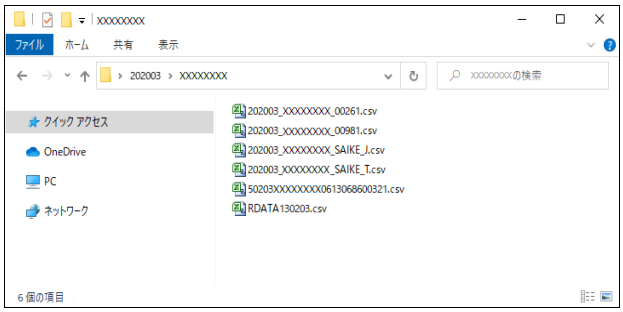
配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。



4.　【OK】ボタンをクリックします。

配信先に指定したフォルダに、請求関係帳票データが保存され、「請求関係帳票データ配信状況」画面に戻ります。





5. 配信状況を確認します。

配信先に指定したフォルダに、請求関係帳票データが保存されます。

補足

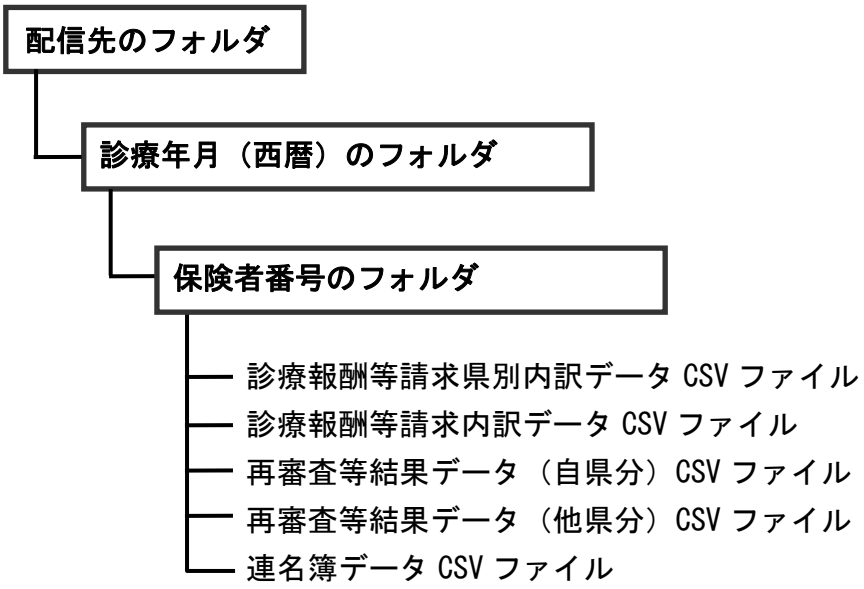
- 「配信状況」欄には、初回配信の終了日時が表示されます。
- 配信済の帳票の「配信」欄には【再配信】ボタンが表示されます。
- 請求関係帳票データ配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「9 請求関係帳票データを Web サイトから配信する」を参照してください。

参照 フォルダ構成については、「■フォルダ構成と CSV ファイルについて」（P.30）を参照してください。

■フォルダ構成と CSV ファイルについて

請求関係帳票データを配信すると、指定したフォルダの中に診療年月のフォルダが作成されます。この下位のフォルダに保険者番号ごとに CSV ファイルが格納されます。



補足

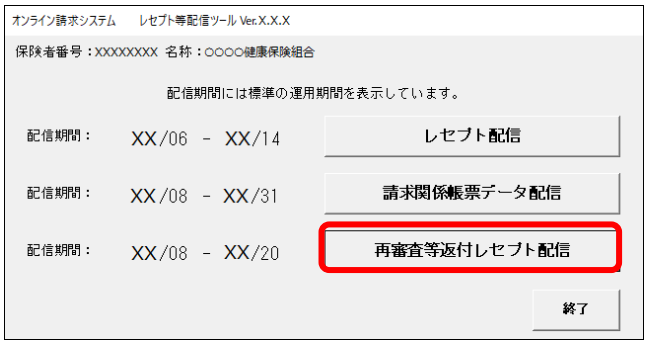
実施機関の場合は、保険者番号フォルダに「連名簿データ」の CSV ファイルが格納されます。

2.7 再審査等返付レセプトデータを配信する

レセプト等配信ツールを使用して再審査等返付レセプトデータを配信します。

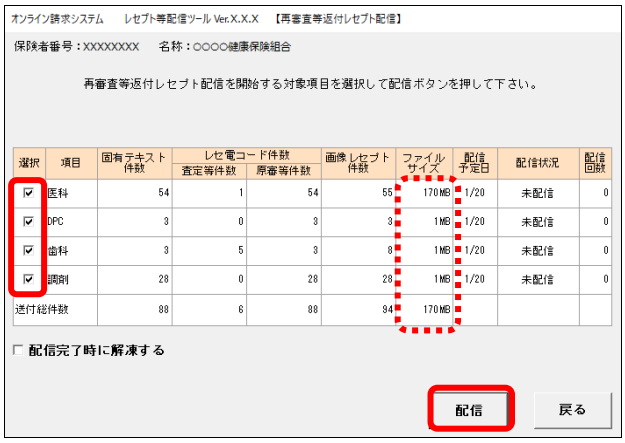
参照 一括提供先保険者の場合は、「2.8 一括提供先保険者の場合」（P.37）を参照してください。

2.7.1 再審査等返付レセプトデータを配信する



1. メニュー画面の【再審査等返付レセプト配信】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト配信状況」画面が表示されます。

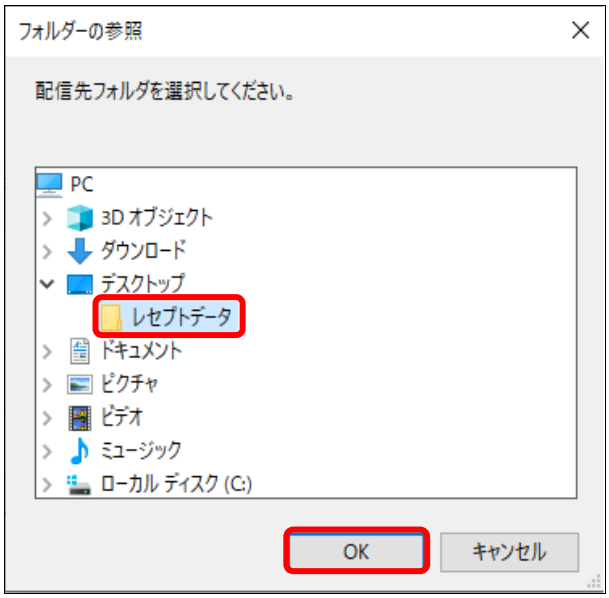


2. 配信する項目の「選択」欄にチェックを入れ、【配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

補足

- 「選択」欄には、あらかじめ全項目にチェックが入っています。
- 「配信完了時に解凍する」には、あらかじめチェックが入っていません。
- 再審査等返付レセプトデータは圧縮されて配信されます。「配信完了時に解凍する」をチェックしている場合のみ、配信後にレセプトデータを解凍します。
- ファイルサイズは、各項目単位に端数整理をしているので、合計が不一致になる場合があります。
- 処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。



3.　再審査等返付レセプトデータを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

概ねの配信時間（残り時間）が表示されます。
再審査等返付レセプト配信が完了すると、完了メッセージが表示されます。

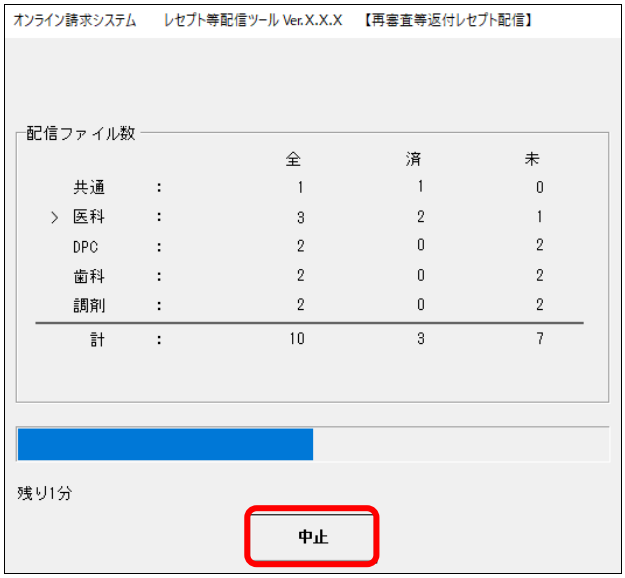
補足

・保存するフォルダには、自動的に「処理年月」名のフォルダが作成されます。
「処理年月」のフォルダ名の例
「50204」：令和 2 年 4 月処理分

・フォルダ名の先頭の数字は、年号を意味します。

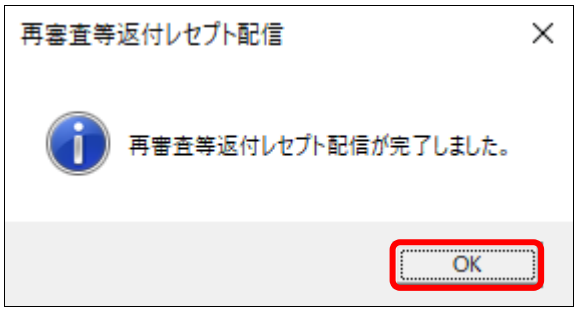
・「処理年月」名のフォルダ内に、自動的にレセプトデータを保存する「0」フォルダが作成されます。

・本書では、「レセプトデータ」フォルダを事前にデスクトップ上に作成しています。



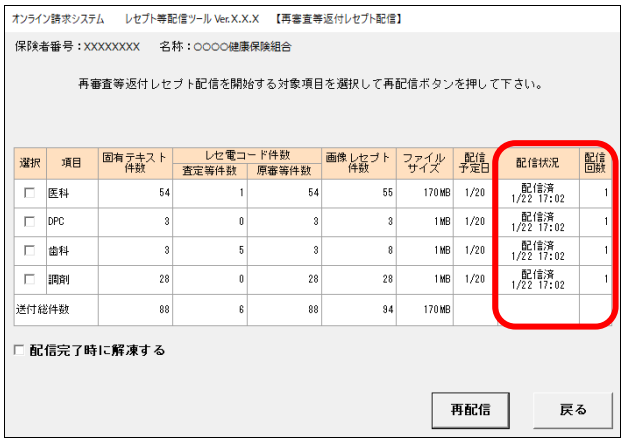
補足

配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。この場合、ファイル単位に配信が終了するので、次に配信を行うときは、未配信ファイルの再審査等返付レセプトデータが配信されます。



4. 【OK】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト配信状況」画面に戻ります。



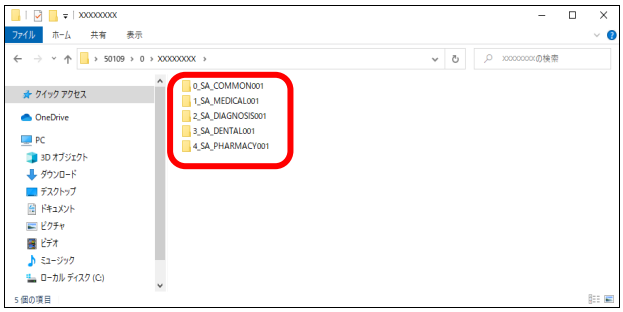
5. 再審査等返付レセプト配信状況を確認します。

配信先に指定したフォルダに、再審査等返付レセプトデータが保存されます。

補足

- 「配信状況」欄には、初回配信の終了日時が表示されます。
- 「配信回数」欄には、配信回数が表示されます。
- すべてのファイルを配信した場合に、【配信】ボタンが【再配信】ボタンに変わります。
- 再審査等返付レセプトデータ配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「11.1 再審査等返付レセプトデータを配信する」を参照してください。



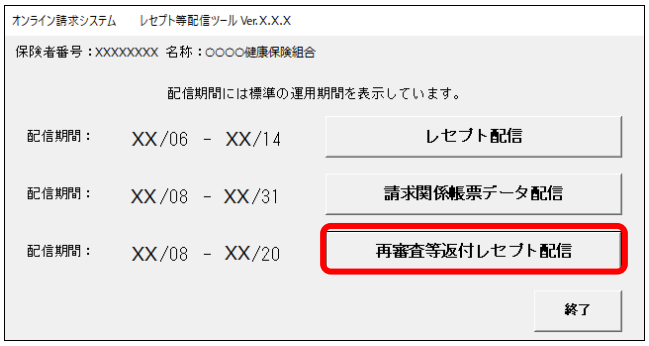
補足

- 1 フォルダ内には最大 10 ファイルまで格納されます。画像レセプトの場合は、1 ファイルあたり 1,000 件まで格納されます。
- 再審査等返付レセプトデータは圧縮して配信されるため、「再審査等返付レセプト配信状況」画面で「配信完了時に解凍する」にチェックをしていない場合は、配信終了後に解凍する必要があります。

参照 再審査等返付レセプトデータの解凍方法は『オンライン請求システム操作手順書【運用】編＜保険者用＞』の「11.3 再審査等返付レセプトデータを解凍する」を参照してください。

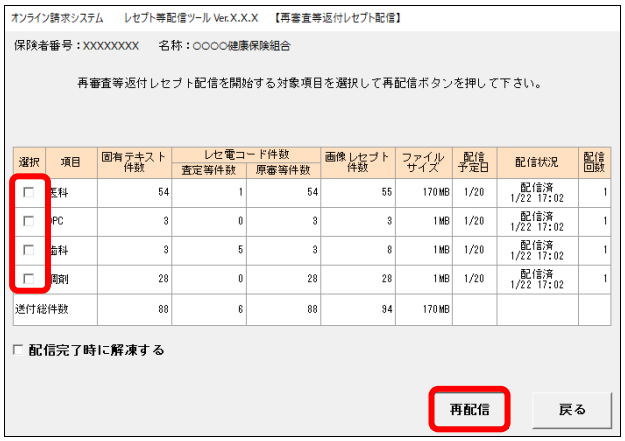
2.7.2 再審査等返付レセプトデータを再配信する

配信済の再審査等返付レセプトデータを誤って消去した場合など、配信期間中に限り、レセプト等配信ツールを使用して再審査等返付レセプトデータを再配信できます。



1.　メニュー画面の【再審査等返付レセプト配信】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト配信状況」画面が表示されます。



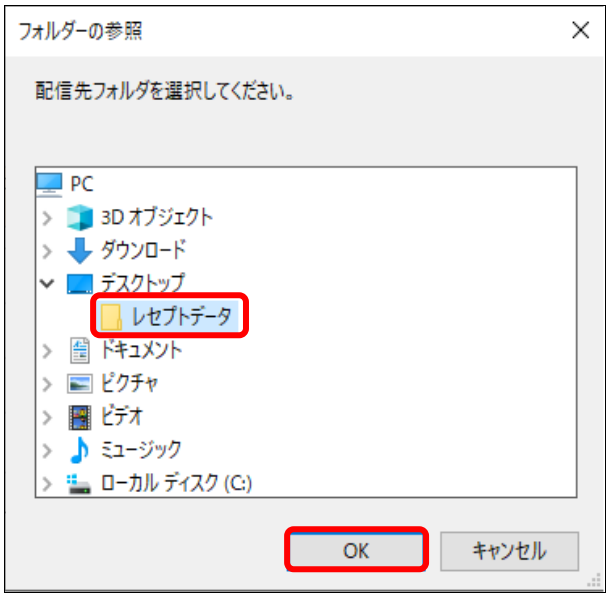
2.　再配信する項目の「選択」欄にチェックを入れ、【再配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

補足

・レセプトデータは圧縮されて配信されます。「配信完了時に解凍する」をチェックしている場合のみ、配信後にレセプトデータを解凍します。

・処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください



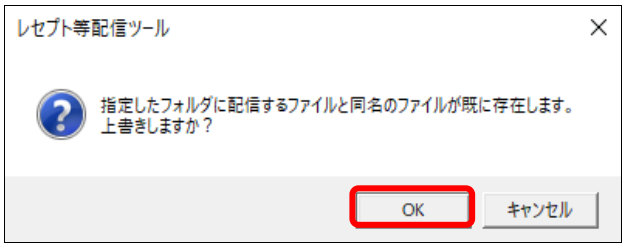
3.　再審査等返付レセプトデータを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

上書き確認メッセージが表示されます。

補足

・初回配信時に作成された「処理年月」名のフォルダを削除した場合には、再度、自動的に「処理年月」名のフォルダが作成されます。
「処理年月」のフォルダ名の例
「50204」：令和 2 年 4 月処理分

・フォルダ名の先頭の数字は、年号を意味します。



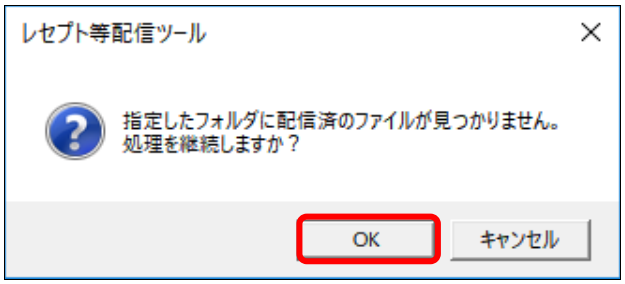
4. 【OK】ボタンをクリックします。

概ねの配信時間（残り時間）が表示されます。再審査等返付レセプト配信が完了すると、完了メッセージが表示されます。

補足

・再審査等返付レセプトデータを上書きしない場合は、【キャンセル】ボタンをクリックし、手順3の「フォルダ選択」画面で別の配信先フォルダを選択してください。

・初回配信時のフォルダが存在しない場合、本メッセージは表示されません。

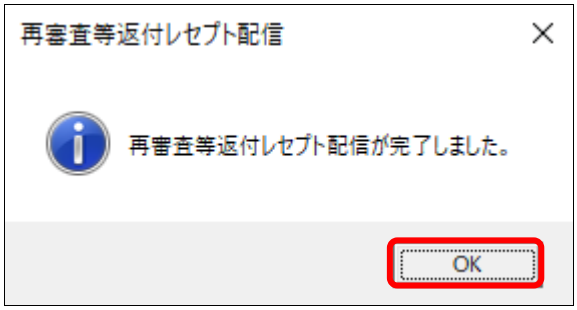


補足

再審査等返付レセプト配信で指定したフォルダと異なるフォルダを指定した場合は、左のような画面が表示されます。再審査等返付レセプト配信で指定したフォルダと異なるフォルダに再配信する場合は、【OK】ボタンをクリックしてください。

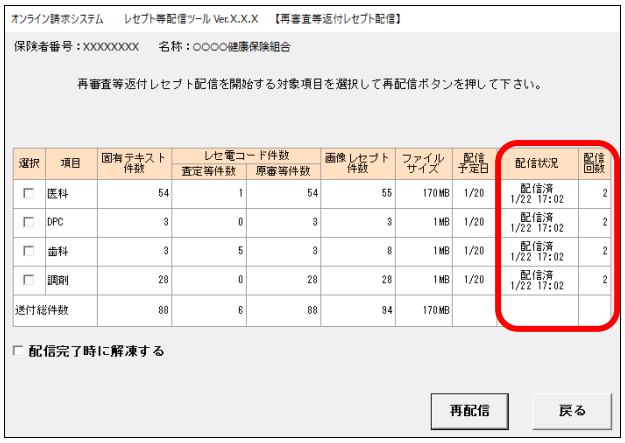
補足

配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。



5. 【OK】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト配信状況」画面に戻ります。



6.　再審査等返付レセプトデータの再配信状況を確認します。

補足

・再配信を行った項目の配信回数が変更されます。

・再配信を行っても、「配信状況」欄の表示は変更されません。

・再審査等返付レセプト配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書【運用】編＜保険者用＞』の「11.2 再審査等返付レセプトデータを再配信する」を参照してください。

2.8 一括提供先保険者の場合

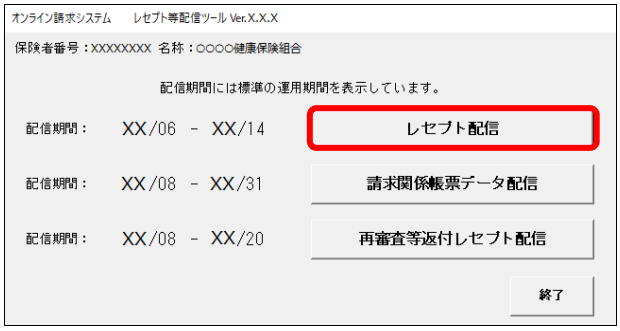
一括提供先保険者が利用できる以下の機能について説明します。

・レセプトデータをレセプト等配信ツールから配信する機能
・請求関係帳票データをレセプト等配信ツールから配信する機能
・再審査等返付レセプトデータをレセプト等配信ツールから配信する機能

2.8.1 レセプトデータを配信する

レセプト等配信ツールを使用してレセプトデータを一括配信します。

2.8.1.1 レセプトデータを一括配信する



1. メニュー画面の【レセプト配信】ボタンをクリックします。

「レセプト一括配信状況」画面が表示されます。

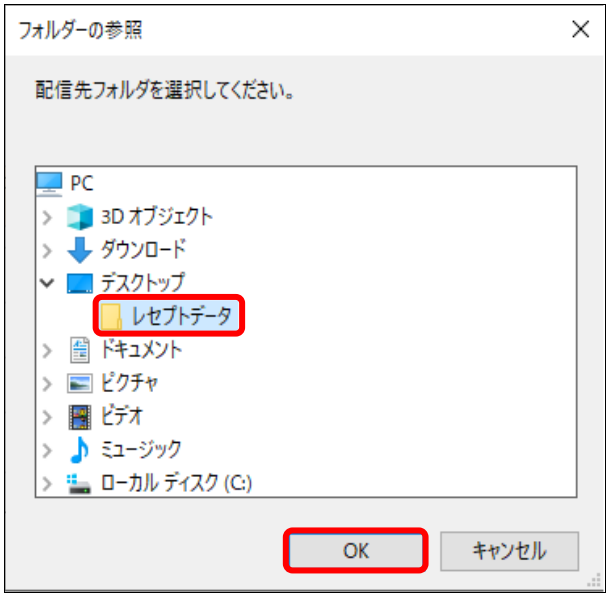
2.　配信する項目の「選択」欄にチェックを入れ、【配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

補足

- 現在配信中の保険者数／配信対象保険者数が表示されます。また（　）内には、未配信の保険者数（配信中の保険者も含む）が表示されます。
- 「選択」欄には、あらかじめ全項目にチェックが入っています。
- 「配信完了時に解凍する」には、あらかじめチェックが入っていません。
- レセプトデータは圧縮されて配信されます。「配信完了時に解凍する」をチェックしている場合のみ、配信後にレセプトデータを解凍します。
- 「選択」「レセプト件数」「ファイルサイズ」「配信状況」および「配信回数」は、CSV ファイルと画像ファイルに分けて表示されます。
- ファイルサイズは、各項目単位に端数整理をしているので、合計が不一致になる場合があります。
- すべての項目が配信済の場合、【配信】ボタンは【再配信】ボタンに変わり、「選択」欄にチェックが入っていない状態で表示されます。
- 処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。

参照 【配信予測時間計測】ボタンをクリックすると、レセプトデータを配信する際の予測時間を測定できます。配信予測時間を測定する場合は、「2.5.3 レセプトデータの配信予測時間を計測する」(P. 25)を参照してください。



3. レセプトデータを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

概ねの配信時間（残り時間）が表示されます。レセプト配信が完了すると、完了メッセージが表示されます。

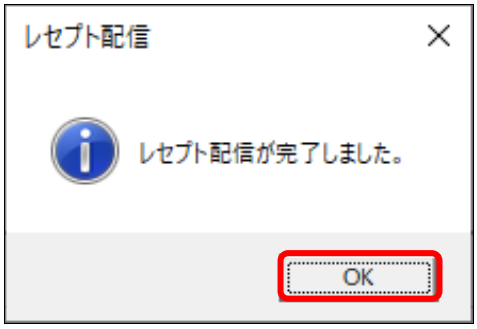
補足

・本書では、「レセプトデータ」フォルダを事前にデスクトップ上に作成しています。

補足

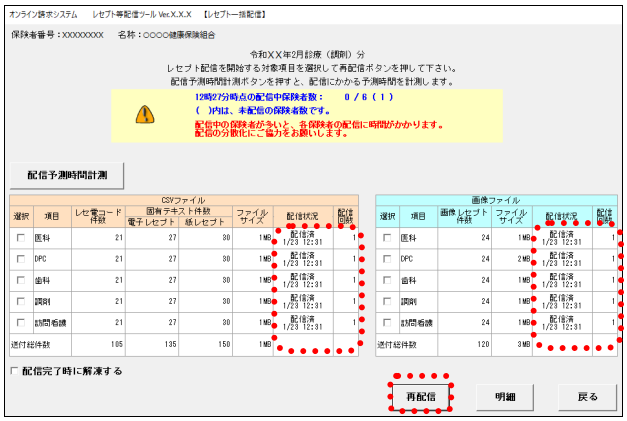
・現在配信中の保険者数／配信対象保険者数が表示されます。また（ ）内には、未配信の保険者数（配信中の保険者も含む）が表示されます

・配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。この場合、ファイル単位に配信が終了するので、次に配信を行うときは、未配信ファイルのレセプトデータが配信されます。



4. 【OK】ボタンをクリックします。

「レセプト一括配信状況」画面に戻ります。



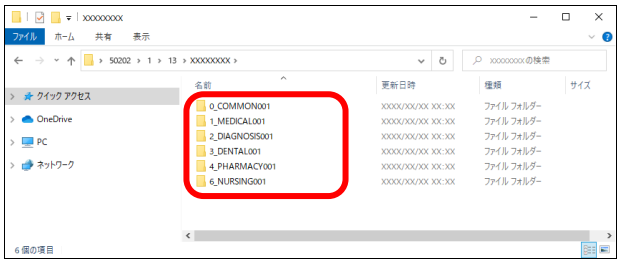
5.　一括配信状況を確認します。

配信先に指定したフォルダに、レセプトデータが保存されます。

補足

- CSV ファイルおよび画像ファイルの各「配信状況」欄には、それぞれの初回配信の終了日時が表示されます。
- CSV ファイルおよび画像ファイルの各「配信回数」欄には、それぞれの配信回数が表示されます。
- CSV ファイルおよび画像ファイルをすべて配信した場合に、【配信】ボタンが【再配信】ボタンに変わります。
- 一括配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「13.1.1 レセプトデータを一括配信する」を参照してください。



補足

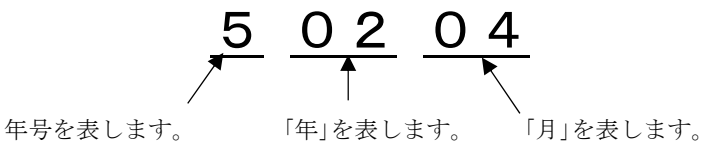
- 1 フォルダ内には最大 10 ファイルまで格納されます。画像レセプトの場合は、1 ファイルあたり 1,000 件まで格納されます。
- レセプトデータは圧縮して配信されるため、「レセプトデータ一括配信状況」画面で「配信完了時に解凍する」にチェックをしていない場合は、配信終了後に解凍する必要があります。

参照 レセプトデータの解凍方法は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「13.1.3 一括配信したレセプトデータを解凍する」を参照してください。

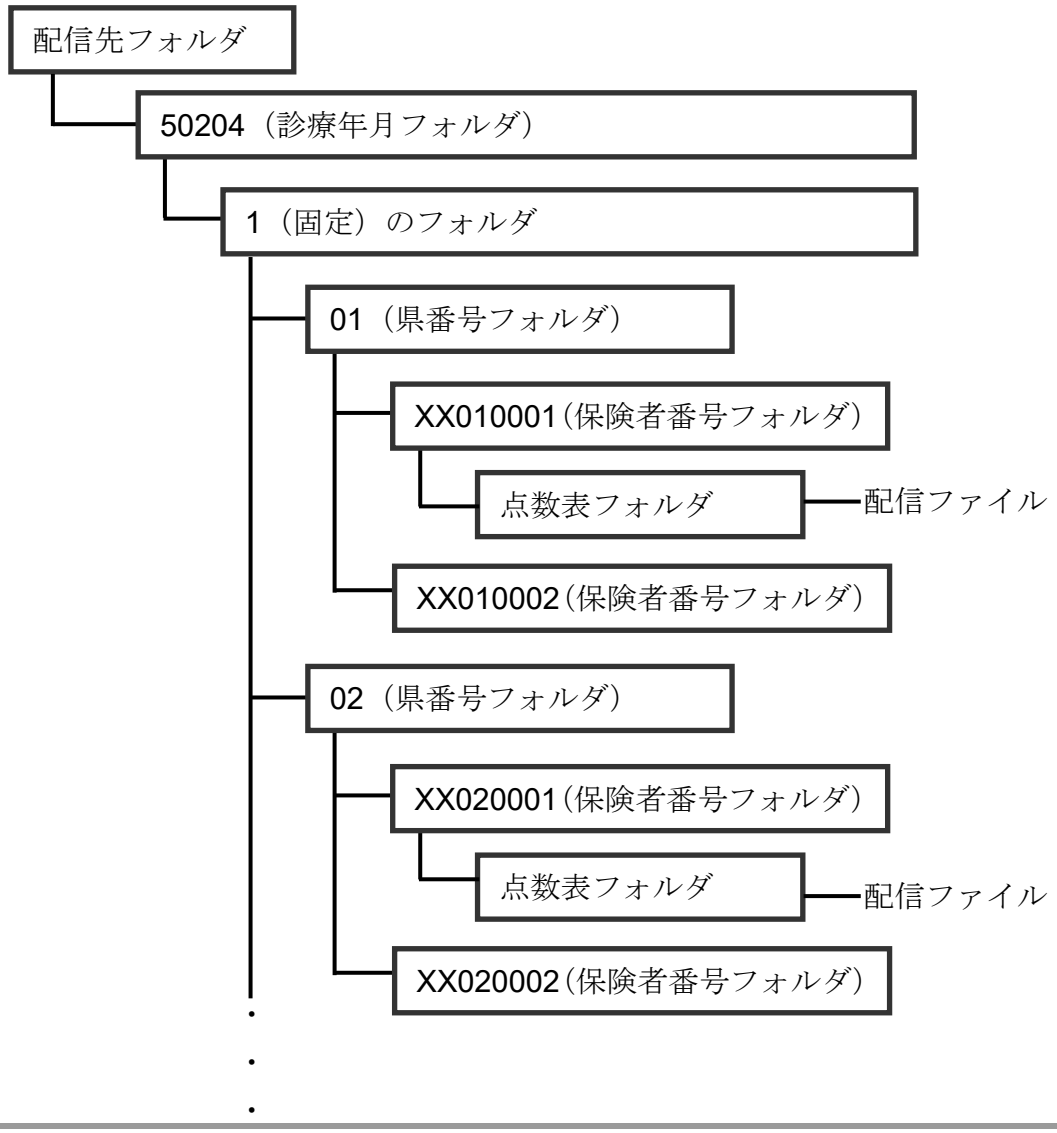
補足

・一括配信を行うと、配信先フォルダ内には「診療年月」フォルダが自動的に作成されます。レセプト等配信ツールから配信されるレセプトデータは、この「診療年月」フォルダの中に格納されます。
「診療年月」フォルダ名は 5 桁の数字で表され、それぞれの数字は年号（1 桁）年（2 桁）月（2 桁）を表します。

例）フォルダ名が「50204」であった場合、「令和 2 年 4 月診療分」のレセプトデータのフォルダであることを意味します。

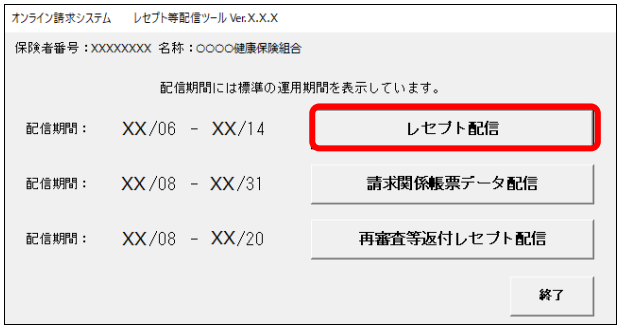


・「診療年月」フォルダ内に、「1」フォルダ、「県番号」フォルダ、「保険者番号」フォルダ、「点数表」フォルダの順にフォルダが作成され、「点数表」フォルダ内にレセプトデータが格納されています。「配信先」フォルダの構成は、以下のようになります。



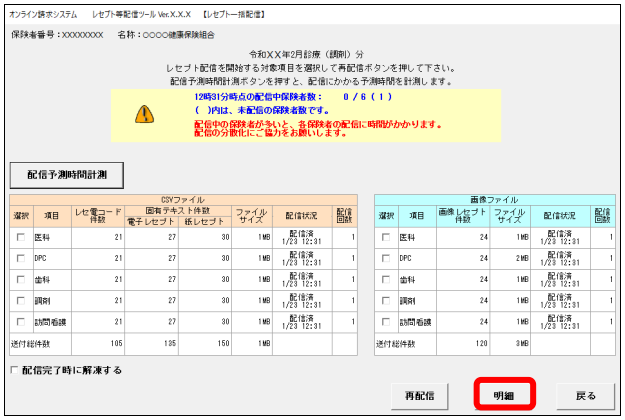
2.8.1.2 レセプト一括配信の状況を確認する

一括提供希望保険者のレセプト一括配信状況を確認します。



1. メニュー画面の【レセプト配信】ボタンをクリックします。

「レセプト一括配信状況」画面が表示されます。

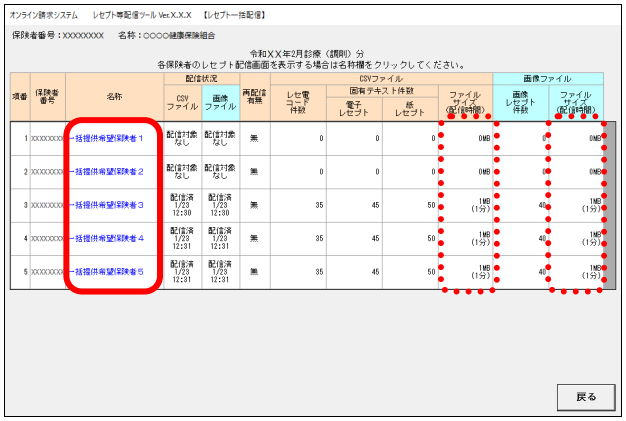


2. 【明細】ボタンをクリックします。

「レセプト一括配信状況明細」画面が表示されます。

補足

処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。



3. 確認したい一括提供希望保険者の「名称」（リンク文字列）をクリックします。

選択した一括提供希望保険者の「レセプト配信状況」画面が表示され、配信状況を確認できます。

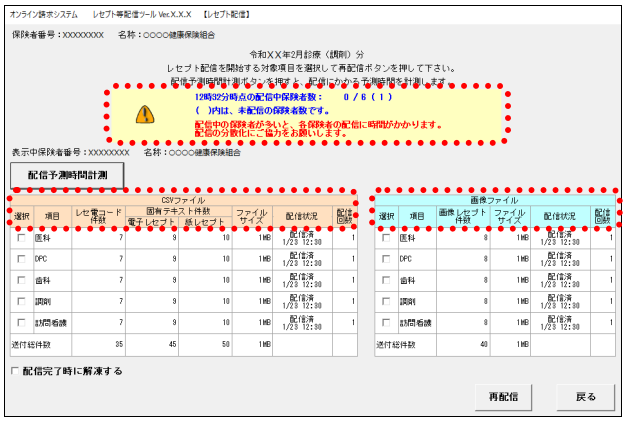
補足

・配信時間は、各保険者単位に端数整理をしているので、配信時間合計と不一致になる場合があります。

・【戻る】ボタンをクリックすると、「レセプト一括配信状況」画面に戻ります。

・レセプト一括配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「13.1.2 レセプト一括配信の状況を確認する」を参照してください。



補足

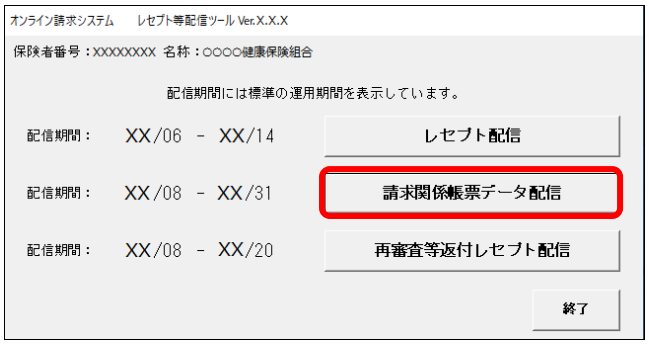
- 現在配信中の保険者数／配信対象保険者数が表示されます。また（　）内には、未配信の保険者数（配信中の保険者も含む）が表示されます。
- 「選択」「レセプト件数」「ファイルサイズ」「配信状況」および「配信回数」は、CSV ファイルと画像ファイルに分けて表示されます。

参照 一括提供希望保険者ごとにレセプトデータを配信する場合は、「2.5.1 レセプトデータを配信する」（P.18）を参照してください。

2.8.2 請求関係帳票データを配信する

レセプト等配信ツールを使用して、請求関係帳票の CSV データを一括配信します。
なお、過去 3 か月分の請求関係帳票データが配信可能です。

2.8.2.1 請求関係帳票データを一括配信する



1.　メニュー画面の【請求関係帳票データ配信】ボタンをクリックします。

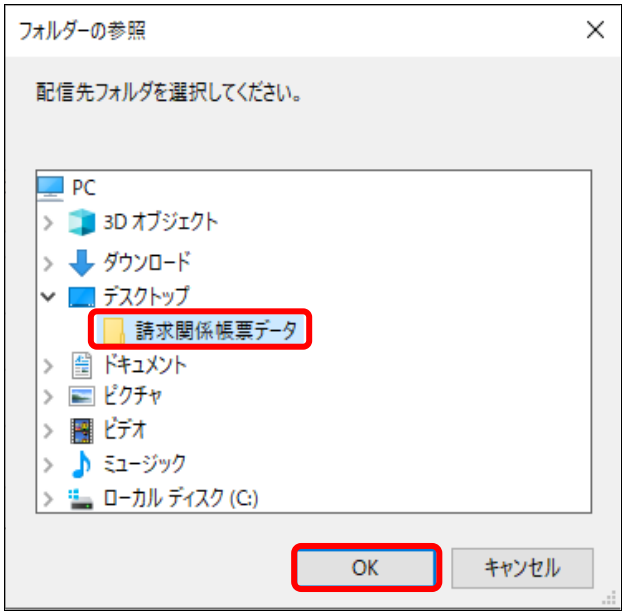
「請求関係帳票データ一括配信状況」画面が表示されます。

2.　配信するデータの【配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

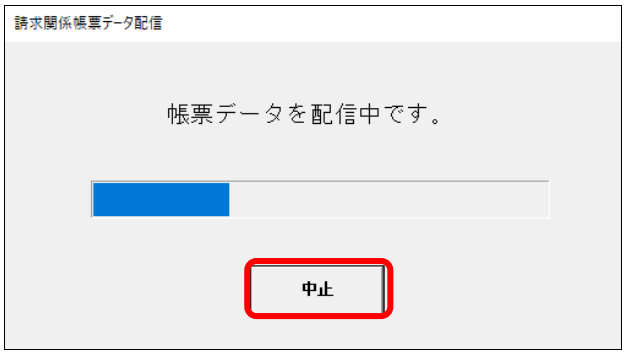
補足

処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。



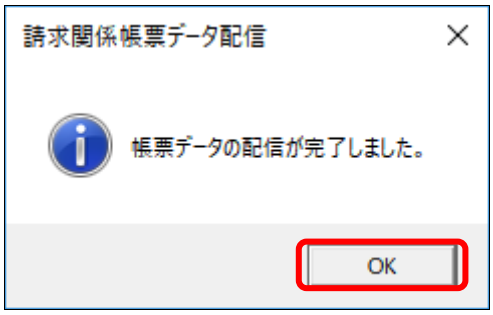
3. 請求関係帳票データを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

「帳票データを配信中です。」と表示され、その後、完了メッセージが表示されます。



補足

配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。



4. 【OK】ボタンをクリックします。

配信先に指定したフォルダに、請求関係帳票データが保存され、「請求関係帳票データ一括配信状況」画面に戻ります。

5.　配信状況を確認します。

配信先に指定したフォルダに、請求関係帳票データが保存されます。

補足

・配信済の帳票の「配信」欄には【再配信】ボタンが表示されます。

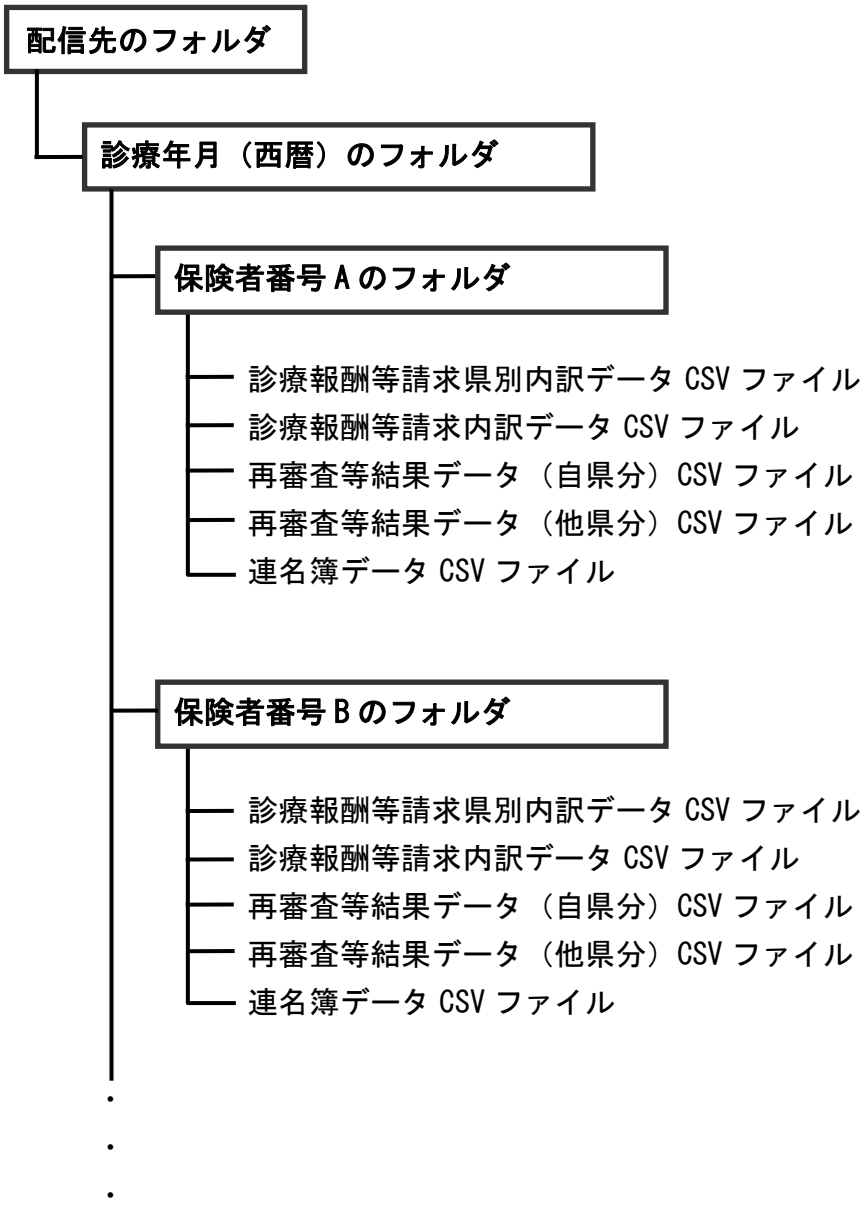
・請求関係帳票データ一括配信状況は、オンライン請求システムからも確認することが出来ます。

参照 オンライン請求システム上で確認をする場合は『オンライン請求システム操作手順書　【運用】編＜保険者用＞』の「13.5.2 請求関係帳票データ一括配信の状況を確認する」を参照してください。

参照 フォルダ構成については、「■フォルダ構成と CSV ファイルについて」（P.47）を参照してください。

■フォルダ構成と CSV ファイルについて

請求関係帳票データを一括配信すると、指定したフォルダの中に診療年月のフォルダが作成されます。この下位のフォルダに保険者番号ごとに CSV ファイルが格納されます。

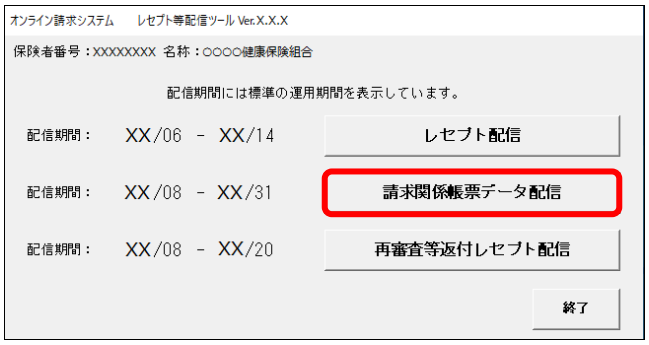


補足

実施機関の場合は、保険者番号フォルダに「連名簿データ」の CSV ファイルが格納されます。

2.8.2.2 請求関係帳票データ一括配信の状況を確認する

レセプト等配信ツールを使用して、一括提供希望保険者の請求関係帳票データ一括配信状況を確認します。



1.　メニュー画面の【請求関係帳票データ配信】ボタンをクリックします。

「請求関係帳票データ一括配信状況」画面が表示されます。

2.　【明細】ボタンをクリックします。

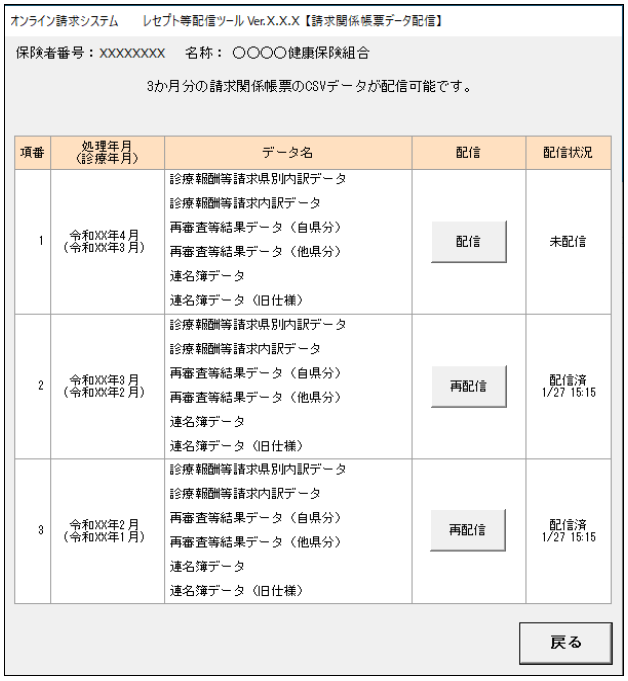
「請求関係帳票データ一括配信状況明細」画面が表示されます。

3. 確認したい一括提供希望保険者の「名称」（リンク文字列）をクリックします。

選択した一括提供希望保険者の「請求関係帳票データ配信状況」画面が表示され、配信状況を確認できます。

補足

処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。



補足

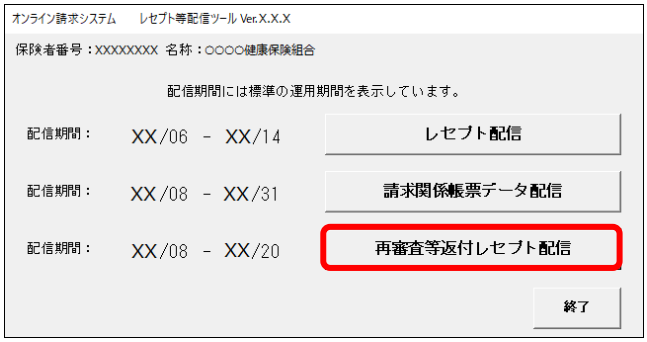
【戻る】ボタンをクリックすると、「請求関係帳票データ一括配信状況明細」画面に戻ります。

参照 一括提供希望保険者ごとに請求関係帳票データを配信する場合は、「2.6 請求関係帳票データを配信する」（P. 27）を参照してください。

2.8.3 再審査等返付レセプトデータを配信する

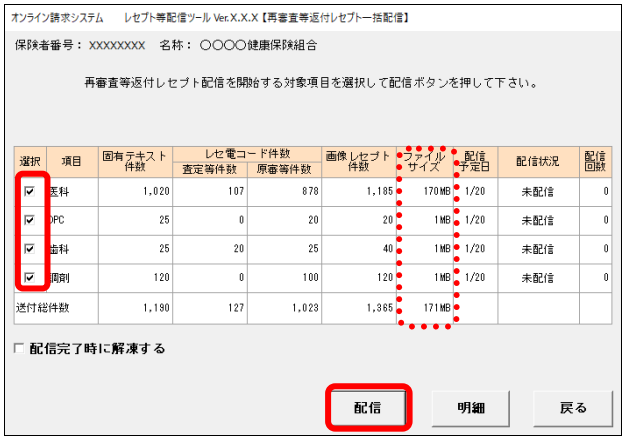
レセプト等配信ツールを使用して、再審査等返付レセプトデータを一括配信します。

2.8.3.1 再審査等返付レセプトデータを一括配信する



1.　メニュー画面の【再審査等返付レセプト配信】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト一括配信状況」画面が表示されます。

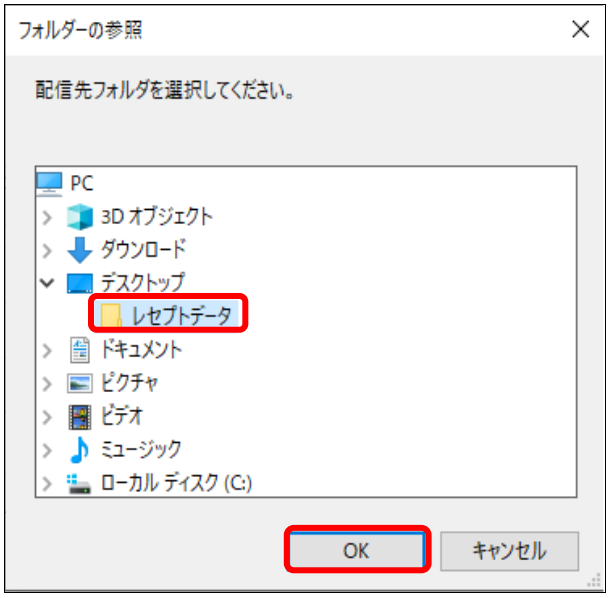


2.　配信する項目の「選択」欄にチェックを入れ、【配信】ボタンをクリックします。

「フォルダ選択」画面が表示されます。

補足

- 「選択」欄には、あらかじめ全項目にチェックが入っています。
- 「配信完了時に解凍する」には、あらかじめチェックが入っていません。
- 再審査等返付レセプトデータは圧縮されて配信されます。「配信完了時に解凍する」をチェックしている場合のみ、配信後に再審査等返付レセプトデータを解凍します。
- ファイルサイズは、各項目単位に端数整理をしているので、合計が不一致になる場合があります。
- すべての項目が配信済の場合、【配信】ボタンは【再配信】ボタンに変わり、「選択」欄にチェックが入っていない状態で表示されます。
- 処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。

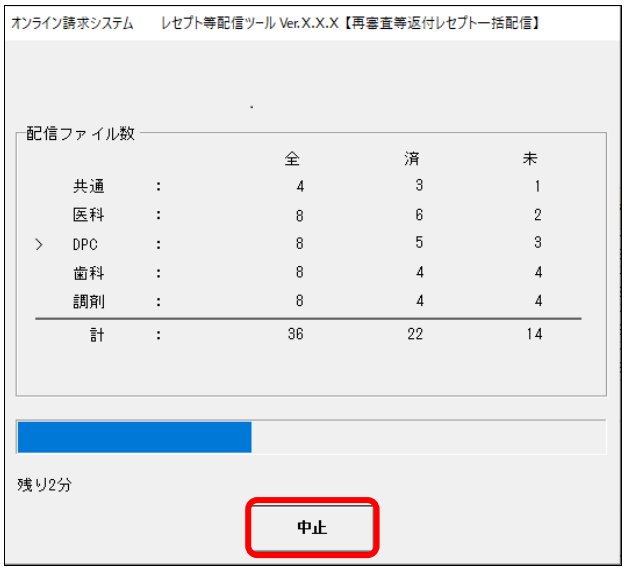


3. 再審査等返付レセプトデータを保存するフォルダを指定し、【OK】ボタンをクリックします。

概ねの配信時間（残り時間）が表示されます。再審査等返付レセプト配信が完了すると、完了メッセージが表示されます。

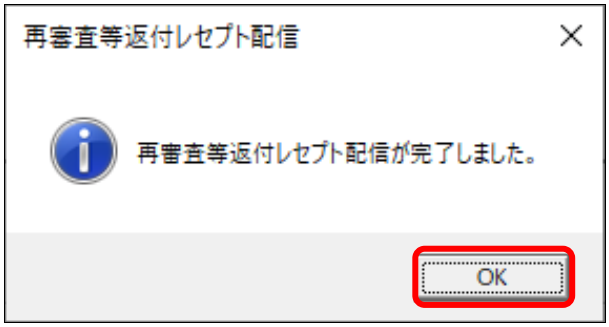
補足

・本書では、「レセプトデータ」フォルダを事前にデスクトップ上に作成しています。



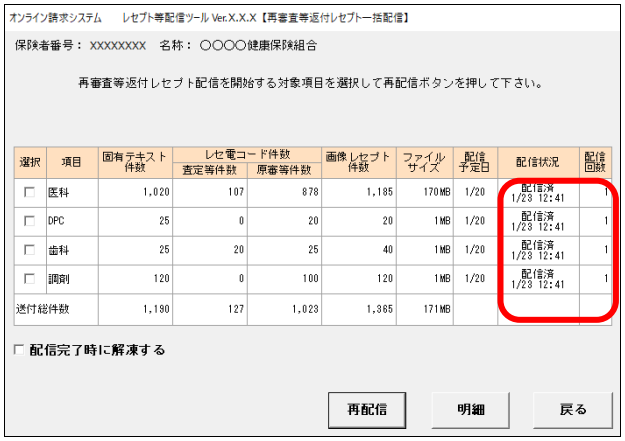
補足

配信を中止するには、【中止】ボタンをクリックしてください。この場合、ファイル単位に配信が終了するので、次に配信を行うときは、未配信ファイルの再審査等返付レセプトデータが配信されます。



4. 【OK】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト一括配信状況」画面に戻ります。



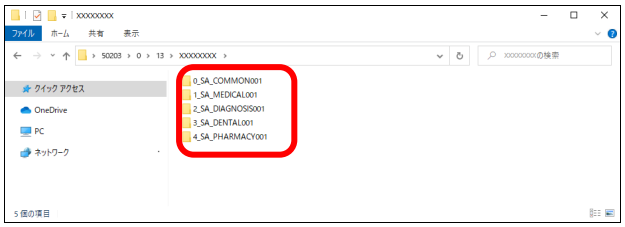
5.　一括配信状況を確認します。

配信先に指定したフォルダに、再審査等返付レセプトデータが保存されます。

補足

・「配信状況」欄には、初回配信の終了日時が表示されます。

・「配信回数」欄には、配信回数が表示されます。



補足

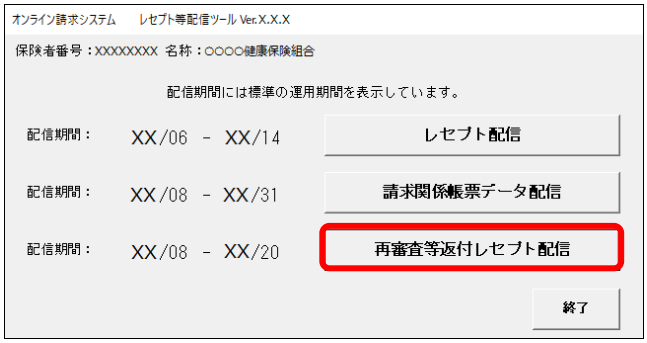
・1 フォルダ内には最大 10 ファイルまで格納されます。画像レセプトの場合は、1 ファイルあたり 1,000 件まで格納されます。

・再審査等返付レセプトデータは圧縮して配信されるため、「再審査等返付レセプト一括配信状況」画面で「配信完了時に解凍する」にチェックをしていない場合は、配信終了後に解凍する必要があります。

参照 再審査等返付レセプトデータの解凍方法は、『オンライン請求システム操作手順書【運用】編＜保険者用＞』の「13.7.3 一括配信した再審査等返付レセプトデータを解凍する」を参照してください。

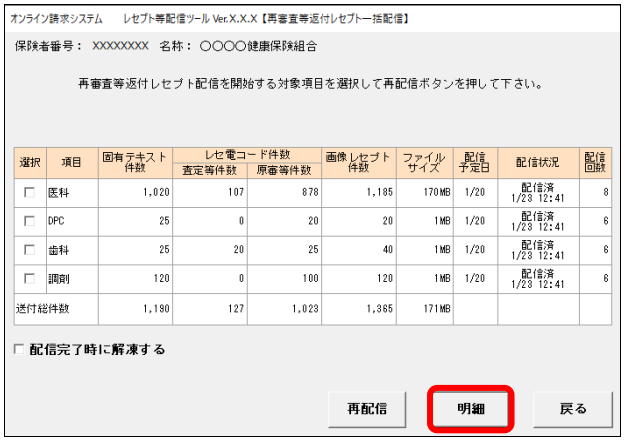
2.8.3.2 再審査等返付レセプトデーター括配信の状況を確認する

レセプト等配信ツールを使用して、一括提供希望保険者の再審査等返付レセプトデータ一括配信状況を確認します。



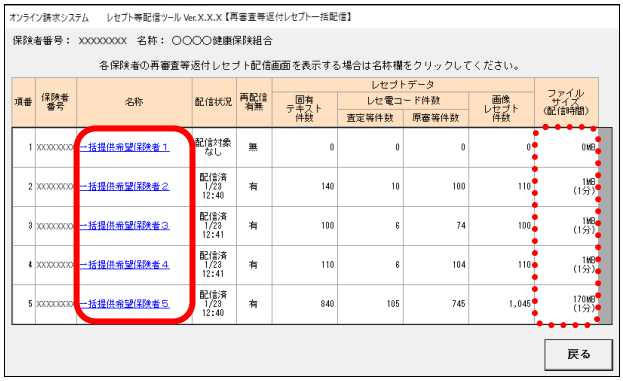
1. メニュー画面の【再審査等返付レセプト配信】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト一括配信状況」画面が表示されます。



2. 【明細】ボタンをクリックします。

「再審査等返付レセプト一括配信状況明細」画面が表示されます。

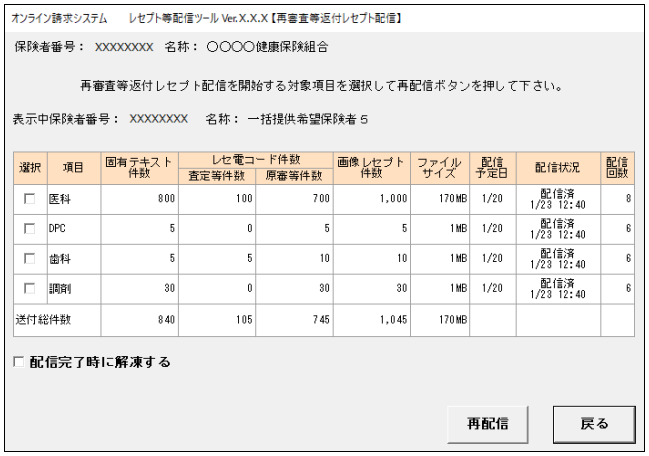


3. 確認したい一括提供希望保険者の「名称」（リンク文字列）をクリックします。

選択した一括提供希望保険者の「再審査等返付レセプト配信状況」画面が表示され、配信状況を確認できます。

補足

処理を中止するには、【戻る】ボタンをクリックしてください。



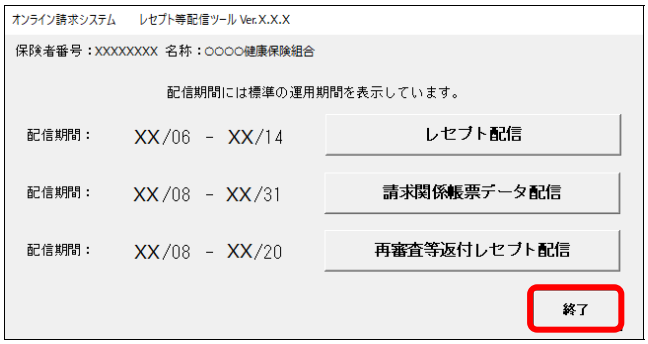
補足

【戻る】ボタンをクリックすると、「再審査等返付レセプト一括配信状況明細」画面に戻ります。

参照 一括提供希望保険者ごとに再審査等返付レセプトデータを配信する場合は、「2.7 再審査等返付レセプトデータを配信する」（P.31）を参照してください。

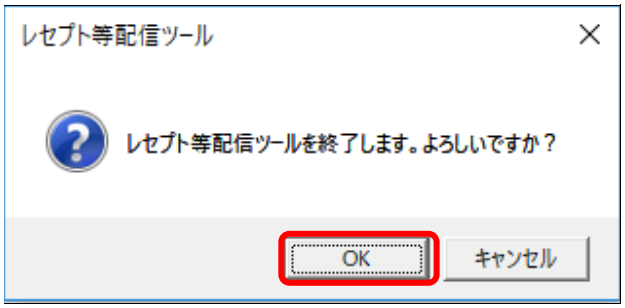
2.9 レセプト等配信ツールを終了する

レセプト等配信ツールを終了します。



1.　【終了】ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されます。



2.　【OK】ボタンをクリックします。

レセプト等配信ツールを終了します。